新京日日新聞
夕刊　十二月十八日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用 三二〇五 營業部專用 三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

北支に明朗萠す

冀察政務委員會 今朝正式に成立す
引續き第一回委員會開催
堂々宣言を談話の形式て發表

（北平十八日發國通至急報）北支政局に新紀元を劃する冀察政務委員會の成立式は十八日午前八時より外交大樓本樓大廣間に於て擧行された、宋哲元委員長以下委員秦德純、張自忠、蕭振瀛、劉哲、王揖唐、高凌霨、石敬亭賈德耀、李廷玉、曹汝霖、冷家驥、萬福麟、門致仲、胡毓坤の十五名參集午前八時十分宋委員長は壇上に進み成立宣言に關する一場の挨拶を爲し、之に對し委員を代表して李廷玉氏が答辭をなし最後に來賓として商會首席鄒泉蓀氏が祝辭を述べ、同八時卅五分歷史的成立式は滯りなく終り、一同は別室に於て直ちに第一回委員會に入つた

劉、王、秦の三氏を常務委員に推薦

【北平十八日發國通至急報】冀察政務委員會は就任式後直ちに第一回會議を開き委員長宋哲元氏主席の下に
一、劉哲、王揖唐、秦德純の三氏を政務委員會常務委員に推薦
二、常任委員會は毎週金曜開會
の二項を議決、午前九時右委員を中心に委員會關係者は大食堂に參集、シャンパンの盃をあげて明朗北支の誕生を祝福した

宣言全文

【北平十八日發國通至急報】宋哲元委員長の談話形式に於ける宣言全文は左の如し
今次中央は地方行政を便利ならしむるため特に冀察政務委員會を設け河北、察哈爾兩省及び北平、天津兩市の一切の政務を處理させる事となつた、本會の委員諸氏は人望高く何れも余が欽佩する所のものである余は委員長の職を受けたが、自ら才力薄弱にしてこの重橋に勝へ國人の希望に副ひ難きを知るものであるが今後の內政、外交に對して抱懷する主張を今就任の始めに當つて略言することとする
第一　今後の地方興革、用人行政は悉く民意を以て準則となし民の好む所を好み民の憎む所を憎み決して民意に違反して行はず
第二　爲政者は民衆と甘苦を同じくすべし財政方面に關しては廉潔主義を勵行し切實に整頓しこの金融緊迫の時に當り必ずや冀察兩省の經濟をして漸次穩定に趨かしむ
尚は善隣の原則に基き努めて邦交の親睦をはかるべし、凡そ平等互惠の精神を以て吾に對する者は皆わが友である況んや塘沽協定以來冀察兩省は日本と特殊關係にあり兩國の利益の爲め東亞和平の爲めにも互維互助し本當の親善を實行すべきである、余は最大の誠意を以ての努力をなさんとするものである、この外禮敎の尊重、共禍の消滅、東方文化精神の發揚、人民の自治能力の促進等も亦余の平素よりの主張である、故人曰く「政をなす多言にあらず」と余は各委員と共に冀察數千萬民衆と誠を以て相見えこの方針に基いて切實に實行して行くものである

今後の發展は
一つに日本の指導援助に懸る

【北平十八日發國通至急報】冀察政務委員會は
一、民意による政治
二、財政經濟の整頓安定
三、日本との徹底的親善提携
四、禮敎の尊重
五、共禍の消滅
六、東方文化精神の發揚
七、人民の自治促進
の七大主張を掲げ之が不言實行を誓つて力強く明朗北支具現への第一歩を踏み出した、斯くて約三ケ月に亘つて揉みに揉み波瀾曲折を重ねた北支時局は全く一段落を告げた譯である、而して興望を一身に荷つて起つた宋哲元氏は最大の誠意を以て最後の努力を爲す決意を披瀝して居り、北支の今後は多幸が約束されるが之は新政權に對する日本の指導援助を前提とするものであつて北支の前途は一つに日本の今後の北支對策如何に懸ると見られ、新政權當局者は何れも日本が新政權を見殺しにせず飽く迄理解同情の下に各方面に亘つて積極的指導援助を興へんことを切望してゐる

昭和十年の回顧（終）
北支自治政權の成立を目睫に
軍縮會議いよいよ開かる

十月
一日　國勢調査　電氣週間始まる　新航空路開設、空のスピードアップ實施
二日　滿獨僞替協定成る　新京附屬地地方委員選擧
三日　第一回總務廳長會議　エチオピアに動員令下る　伊軍飛行機アドワの爆撃開始　東三道街邦人宅に慘劇三人殺傷さる
五日　滿洲法曹協會成る　早くも霰降る　北支滿洲間電信連絡交渉成立
七日　アドワ占領さる　滿洲國特別演習開始
九日　同上觀兵式　地方委員會正副議長選擧終る
十日　國際聯盟總會開く
十一日　イタリー制裁案採擇さる
十二日　本社主催煖房展開く
十三日　大連會議第一日
十四日　日滿空陸連絡實施
十五日　西公園のボート陸揚げ　國體明徵政府再聲明
十七日　敬老會
十八日　帝都キネマ燒く
十九日　上海でわが陸軍武官會議
二十二日　滿ソ國境紛爭事件で關東軍幕僚談發表
二十四日　本社放送新人募集發表
二十五日　日滿郵便條約閣議上程
二十六日　正隆銀行公金橫領事件發覺　全滿居留民會長會議
二十九日　北支の民衆自治運動擴大　滿鐵國幣併用制可決
三十日　灤州事件の眞貌暴露さる

十一月
一日　滿鐵魂作興運動第一日　汪精衛氏兇漢に射たる　北支民衆大デモ
三日　明治節　新京神社の獻詠選歌發表
四日　電話線一齊切替　稀代の掠奪殺人犯人捕はる
五日　初雪あり零下九度二に下る　早くも門松の賑、聖德會で請負開始
六日　滿洲國幣統一問題細目協定へ
九日　わが水兵上海で狙撃さる
十日　英支秘密契約暴露　精神作興詔書換發記念日
十一日　大藏省豫算省議始まる
十二日　東洋工業會議開く
十五日　朝鮮人民聯合會新京へ移轉
十八日　永野軍縮全權一行新京入り　對伊制裁案發動
二十四日　入營兵士市民送別大會　戰區遂に自治獨立、通州に冀東自治政府組織さる
二十八日　親王殿下御誕生
三十日　治法撤廢委員會審議終る

十二月
一日　北平自治委員會黨政離脫宣言書發表
二日　ドイツ觀察團來京
四日　第二皇子殿下御命名あらせらる
六日　鮮、中銀の業務協定正式調印成る　南京政府首腦部改組發表さる
七日　南京政府妥協、北支自治政權成立へ
九日　軍縮會議開會
十五日　第一回新京滿鐵武道大會
十六日　體樂劇場開く　故貴志喜四郎氏記念碑除幕式
十七日　冀察政務委員會成立式十八日に決定　寬城子街道地下道開通

天津以東の諸市を宋哲元軍が接收

【天津十七日發國通】宋哲元軍は十六日夜突如天津以東の商震軍第百四十二師の駐屯せる軍糧城、塘沽、蘆臺方面に移動、又天津市內にも宋哲元氏衛隊約三百名が進入し今朝七時までに完全に之等地點の接收を終り、商震軍は津浦線馬廠以南に撤退した、右接收に當つた部隊は北平西苑に駐屯せる馮治安の第三十七師と見られてゐる、なほ廊坊、楊村方面にも本日宋哲元軍進出し同地を接收される事となつた、之により戰區を除く北寧線は第二十九軍により固められることとなり宋哲元氏の獨裁的勢力は益々擴大されることとなつた

南京政府からの五十萬元で
躍り上つた北支大學長連
何應欽氏が現金を手交

【奉天國通】當地某機關に達した情報によれば南京政府の特使何應欽氏は北平に到着後直ちに從者を蔣北平大學長の本に派遣し取敢ず反日及反自治運動費として五十萬元を與へ極力反對氣勢の行動を希望した、蔣學長は之を承諾し十二月六日學長室に於て北支各都市の大學校長會議を開催し清華師範、南開、燕京、輔仁、中國、民國の各大學校長集合、議長に蔣學長を推し、南開大學長張伯廉氏が副議長に推され反日反自治工作につき種々協議の結果次の工作に出る事に決定席上何應欽氏は提供の五十萬元を分配の上散會したが、今後學生聯合會を煽動し年末年始の休暇を利用して大々的に反日反自治講演會を開催、氣勢をあげしむる事となつたが殊に某國資本により設立せられた津□大學では某國の同系大學に多數のパンフレットを送り米國方面に呼ひかける事になつた
決定せる反日反自治工作は左の如くである
一、北支各大學校長通名を以て聲明書を中央政府並に全市各大學に發送する
二、各大學生をして休暇中民衆に反日氣勢をあげしめる事に努む
三、各市自治制度實現の場合には北支各大學の南支移轉を建議する
四、各種デモを行ひ自治政府要人を脅威する
五、全國要人に檄し北支自治政權の不承認をなさしめる

山口司令官歸京

新任○○警備司令官山口少將はハルビン方面視察中のところ十七日午後七時卅五分着列車にて歸京した

森重東亞課長來滿

【東京國通】拓務省森重東亞課長は二十三日新京で開催される滿洲開發會社創立總會出席のため十三日午後三時發列車で渡滿した

英モンセル海相 建艦宣言案提示
十七日の軍縮第一委員會

【ロンドン十七日發國通】第一委員會は十七日午後三時十六分開會された、我方より永野、永井兩全權岩下委員出席 米國よりデヴィス、スタンドレー兩全權、フランスよりロベール中將、イタリーよりビスチア少將の顔觸れだ開會と共にモンセル海相は英國政府の建艦宣言案を提示、四十分に亘り提案の理由に就き說明を加へた、提案の要旨左の如し
一、各國政府は一定年限を限り右年限內に於る建艦計畫を自主的に宣言し且つ相互に通告する
一、建艦宣言に當つては各國政府は各々所要量に應じて建艦計畫を樹立するか豫め艦種別に保有量最高限に就き諒解を遂げ當該期間右限度以上には建艦しない旨協定する
一、通告の期間は國際情勢の變化に適應するため成るべく短期間なるを要すると共に屢々協定を遂げる煩雜を避けるためには相當の年限を豫定する必要あり、彼此參酌して假りに六ケ年を適當と思考する
更に海相は提案の要旨に就き詳細說明を加へ說明終るや各國代表は簡單に自國の立場を表明した
劈頭米國代表デヴィス全權は新提案を好意的に考慮する旨を約して間接に支持を表明したフランス代表は宣言期間を出來るだけ短期間に限定したい旨希望を開陳した、イタリー代表は一寸質問を提示しただけで賛否の意見を留保した、永野全權は全然意見を述べず次回の委員會に於て發言する權利を留保した、斯くして委員會は午後四時五十分散會した、十八日は休會、十九日午前十時半より委員會を續行して建艦宣言案に就き具體的討議を進める筈である

有吉大使改めて
十八日張群氏と會見

【南京十八日發國通】十七日入京した有吉大使は同日午後四時南京政府外交部長張群氏と會見したが、右會見は張群氏が外交部長に新任されたに對し挨拶交換の儀禮的なものであつた、有吉大使は十八日午後三時四十分改めて張群氏を訪問し重要會談を行ふ事になつてゐる、從つて大使赴寧の眼目たる蔣介石氏との會見は十九日に延期され同日午後會見を行ふ事になつた

滿洲國公債三千萬圓
發行條件決定

【東京國通】滿洲國北鐵買收第三回公債三千萬圓發行の件に就ては去る七日引受シンヂケート團の會合で總額三千萬圓中一千萬圓は預金部で、一千萬圓はシンヂケート團が引受け、殘り一千萬圓を一般に賣出す事に決定したので、幹事銀行たる興銀では直ちに滿洲國側と條件其他に就き折衝を重ねた結果此程交渉成立、左の如く前回同樣の條件を以て廿日頃發表される事となつた
利率　年四分
發行價額　九十圓五十錢
期限　十ケ年
擔保　北鐵財産及び收入一切
拂込　來年一月下旬
尚滿洲國への公債前貸金六百五十萬圓は廿日融資される事に決定した

熊埜御堂係長けさ着任

滿鐵東京支社から新京地方事務所涉外係長として淵脇巌氏の後任に決定した熊埜御堂健兒氏は十八日午前八時五十分滿鐵關係その他多數の出迎裡に着任した

人事往來

▲松繩勉氏（滿鐵社員）十七日午後來京國都ホテル
▲橫川安三郎氏（北滿洲金鑛株式會社）同
▲小松久雄氏（請負業）同
▲城惠次氏（滿洲中央銀行員）同
▲增田千里氏（會社員）同
▲山口少將（警備司令官）十七日午後歸京
▲金田純一氏（國際運輸會社員）十七日午後來京ヤマトホテル
▲佐藤豐次氏（兵庫縣〃社員）同
▲須田德市氏（電々會社員）同
▲北野祐佐氏（福島紡績會社員）同
▲谷村淸兵衛氏（ハルビン會社員）同
▲松下芳三郎氏（間島省總務廳長）同
▲河瀨龍雄氏（滿蒙研究所長）十七日午後來京名古屋ホテル
▲阿部淸治氏（航空會社員）同
▲若井三子雄氏（同）同
▲田子富彥氏（神戶製鐵所）同
▲紀內一夫氏（綏中公署）同
▲竹下義晴氏（陸軍大佐）同
▲染谷保藏氏（盛京時報社長本社代表）十八日午後發歸奉

姉妹の魅力　柳咲子作
5……淺草【五】

『乘らないとは、云はないわ！』
『それぢや、乘るか？』
『でも……』
すると、男は、靜子の抱いてゐた三味線の棹に、グイと手をかけて、
『よし！それぢや身がはりに、こいつを貸すんだ』
と云つて、引つたくらうとしたから、
『何、すんのさ！』
と、棹を引つぱられた盲のやうに、ずる、ずるッと切符賣場のはうへよろけて行つたのです。
多寡が、ひとりの醉客を撥ひかね。稼業道具の三味線を毀されでもしては、から云ふ渡世の仲間では、身を汚されたよりも哭ひものとなるのでした。
と、この時。靜子のうしろへ、切符を買ふために近寄つて來た少女がありました。
少女といつても、モウ十七八の年頃で、モウ、夜毎に深まり行く秋だといふのに、まだ夏の洋髮をしてゐる女であつた。
無雜作な斷髮で、化粧い顔の、何かの皮を剝いたやうな感じがありました。それは人並以上の厚化粧を、あわてて落したものに過ぎない。また、耳のうしろあたりには、にちりと白く白粉のあとが殘つてゐた。
洋服は秋のもの、だが、注意して見ると、どうやら下着がそろつてゐないらしかつた。そして、靴下なしの素足でくるぶしのあたりが、白いアンクル・サクスで子供々々見えた。
淺草のレヴュウの踊子風俗ですと、この踊り子風の娘が、片眼をつぶつて靜子のはうへ、一寸合圖をした。
娘の背後には、背の高いひとりの連れの男がゐて、何か輕侮ひのしてゐるやうな顔を見せてゐまし

た。
そして、
『百合子、また旅へ行つたつもりになつちや困るよ。旅の恥は？のつもりで、子供の乘る飛行機なんかに乘つちやア……』
と、云つた。
連れの男は、百合子と云ふこの娘が、不意に思ひついて、この遊覽飛行機に乘らうとするのを、困つたもののやうに、斷う止めてゐたのです。
それから間もなく。——
百合子といふ、この踊り子ふうの娘と連れの男とが乘つた、一臺後の飛行機には、靜子が乘つてゐた。
飛行機は、全部で六臺——飛行機と云ふだけあつて、其の趣は眞物を眞似て拵へてあり、そして、プロペラまで付いてゐるのです。
夜の空氣をふるせて、プロペラの音！　潰走、轟音、だが、靜子と一緒の男は、しきりに飛行機の尻を押して歩いてゐました。
『あら、あたし達が乘つた飛行機のプロペラはどうしたんでせう？動かないわ』
靜子は乘つてゐた前の飛行機から、斯う云つてゐる百合子の聲がきこえて來た。
『さうさ！子供の乘る飛行機へ、レヴュウの踊り子なんかが乘るからだ』そらさうと、この飛行機、舞臺で使ふ飛行機と、そつくりだね』
『だつて、舞臺の飛行機！プロペラなんてないわ』
『でも、この飛行機のは、動かないのよ』
『他の飛行機のは、動いてゐるぢやなくつて……』
『だから、百合子が乘つたから、動かなくなつたんだ』
同乘者は、三人の子供と其の母親らしい三十女であつた。

今曉西公園裏で血醒い慘殺事件

全身に二十數ケ所の傷跡

邦人卅二才の青年

暮迫る十八日午前三時頃國都新京の中心地帶西公園裏府後路に於て本籍鹿兒島縣生れ某所勤務諸留佐一氏（三二）が何者かに顔面、頭部に二十數ケ所と兩手、足部に數ケ所の切傷をうけ遂に絶命した血醒い慘事があつた

現代タクシー運轉手が發見

十八日午前三時五十分頃新京老松町現代タクシー運轉手鄭允健君（二六）が客を送つて歸途西公園裏府後路軍司令官々邸東方約三百米の地點に宿屋の丹前を着し黒足袋下駄穿きのまゝ昏倒せる内地人を發見直ちに西公園派出所に屆け出で派出所からは時を移さず當直員が現場に急行救護して緑町醫院に擔ぎ込み應急手當を加へたが午前四時四十分頃遂に絶命した、身元につき種々調査の結果丹前の下に纏へる浴衣により滿蒙旅館に投宿せるものらしく旅館につき取調べると本籍鹿兒島縣揖宿郡揖宿町字西口生れ諸留佐一氏（三二）と判明した

京署領警では直ちに全市内外に非常線を張り一大捜査を開始した

發見した運轉手の話

諸留氏が虫の息となり倒されてゐるのを發見して警察に屆け出た現代タクシー運轉手鄭允健君は語る

忠靈塔の先まで客を送つて歸る途中午前三時四十分頃西公園裏手軍司令官々邸の東方にさしかゝつた時路上に人が倒れてゐるので車を停めて降りて見るとあたりには格闘したあとがあり血痕か點々と附着し顔面は血で眞赤に染り殆んど息もしてゐないのでこれは大變だとすぐ西公園派出所に屆けましたが年の暮れではありいやてもびつくりしました

格闘の跡歴然 犯人は何者？

宿の丹前のまゝ外出して

當局捜査に必死

諸留氏が遭難までの經路を辿つて見ると同氏は本月十六日熱河承德から新京に

轉任 大丸新館に投宿十六日は荷物の整理をなし一泊十七日午後七時頃大丸新館を引拂ひ三笠町「藪そば」にて飲酒午後九時頃ほろ醉ひ氣嫌で滿蒙旅館に到り投宿銚子約九本位を平げ「一寸外出して來るから」と係女中のキミ子さんに告げ同旅館の丹前に浴衣を重ねて着用し黒足袋を穿き旅館の下駄をつゝかけて立ち出でた儘當夜は歸館せず旅館ではどうしたことかと心配してゐたところ十八日午前三時四十分頃西公園府後路軍司令官々邸東方約三百米の地點に頭部顔面を兇器二十二ヶ所、兩手足數ヶ所に慘鼻目を蔽はしむる切傷をうけて昏倒してゐるのを現代タクシー運轉手に發見されたもので原因其他については更に手がゝりないが附近には

格闘 の跡歴然たるものあり推察するに物とり強盜の仕業ではないかと見られ附屬地憲兵分隊新

醉つた上に宿で更に酒九本

滿蒙旅館女中さんの話

滿蒙旅館の係女中キミ子さんは語る

十七日午後九時頃相當お酒を呑んで來てお泊りになり服を丹前に着替へ冗談を云ひながら銚子九本程お呑みになり大分醉つてゐたので宿帳をお願ひしたが記入せず名刺を置いたまゝ外出して來ると出かけた切りお歸りにならずどうしたのかと案じてゐたところ十八日朝警察からの知らせで驚きました警察の方がお調べになると服の中には現金百九十六圓程入つておりどうしてあゝいふ災難に遭はれたか薩張り想像がつきません

寒氣 死の直接原因は

事件發生と共に新京署司法主任、領警檢事々務は直ちに實地檢證を行つたが死因は格闘の末切瘡により昏倒し凍死したものと見られてゐる

近づくクリスマス

街の日記

寫通武井特派員十七日歸社

北支情勢寫眞報導のため出張中の新京寫眞通信社特派員武井輝光寫眞班員は約一ヶ年に亘り平津地方の寫眞報導の重任を果し十七日夜歸社した

橋東三等水揚

附屬地第一料理店組合を凌駕する勢で發展しつゝある橋東三等組合十一月中の水揚高がこの程新京署に屆け出たがそれによると花代二萬四千九百六十四圓四十錢、酒代三萬二千八百六十三圓二十錢、計五萬七千八百二十七圓六十六錢で前月より一千圓の減收となつてゐる

舞踊家景安正夫氏來社

來る二十一日（土）Y・M・C・A並にY・W・C・A主催のクリスマスの會が公會堂で催されるがこれに出演する景安正夫氏は本日挨拶のため來社した、同氏は石井漠氏の門下で今度新京に舞踊研究所を設ける準備中で來春は滿洲を主題とした自作舞踊劇を發表する予定であると

有田屋陶器店開店

肥前陶器店工業組合統制品滿洲國一手特約店として十六日開店したダイヤ街老松町四有田屋陶器店は肥前有田燒窯元より出張の陶器專門店で開店披露の爲十二月三十一日迄料亭旅館飲食店及び各家庭向高級陶器類を原價以下の安値で提供してゐるので早くも人氣を博し大多忙を極めてゐる

石河局長張宴

石河新京中央郵便局長は十七日午後六時から同局出入の地元新聞記者を千島に招いて忘年懇親宴を張つた

伊藤鐵道出張所吉林街道視察

新京鐵道出張所長伊藤太郎氏は吉林街道視察をかねて明朝六時半から新京發出張所員島信二氏同伴滿鐵自動車で吉林に向ひ出發日歸り旅行の豫定

あす（十九日）

△歳末同情週間最終日

今晩の主なる放送番組

▲七・〇〇長唄「多摩川」（東京）中村六廣外▲七・二五獨唱と二重奏（大阪）―朝日會館より中繼―藤原義江、齋田愛子▲七・五五浪花節「藪原檢校」（東京）木村友信

警戒の街頭に 醉漢警察を騷がす

年末警戒で神經過敏になつてゐる新京署員を騷がせた眞夜の醉漢―今曉午前一時ごろ三―五〇一一が頻りに鳴り響いた當直巡査が電話にかゝると「只今露月町一丁目に馬賊が襲つて來ましたからすぐお願ひします」と、スワ一大事と非常召集を行つて時を移さず繰り出してみると、それらしいものの影もみへず調べてみると露月町一丁目二番地坂本伊助方の窓硝子を羽衣町三丁目飲山醉三―假名が酒に醉つたいたづらで石を投げて破つたのに驚いて馬賊と早合點したのであつた

京圖線襲擊の一味 領警署で逮捕

苦力を裝ひ新京入り途中で

去る七月廿九日午後八時ごろ京圖線營城子、土們嶺間で新京發淸津行き旅客列車を襲擊した

匪首 長江の部下小頭目愛民こと李景堂（二九）、同心誠好こと安瑞金（三四）の二人が最近九台縣火石嶺子煖坑（下九台北方十支里）で苦力として働いてゐるを新京總領事館署員が探知し密偵を派して內査を進めたところ犯人が十一日現地を出發し新京に向つたことを突止めたので同署では犯人の立廻り先である外市二道河子附近に張込み中十六日午後七時ごろ南關橋南方一軒の吉林大路に苦力風を裝ふた二人がやつて來たので有無をいはさず逮捕せんとするや二人は直に逃走を企たが追跡大格闘の末逮捕した、取調べると李の

懷中 からモーゼル拳銃一挺、實彈六發を發見押取し嚴重取調べの結果前記列車襲擊の事實を自白した

署長から金一封

右匪賊逮捕の功を賞し廣石署長は金一封を送つて慰勞した

建築設計士の惡事暴露

本籍滋賀縣栗太郡治田村大字小柿二七〇元新京梅ヶ枝町三ノ六建築設計士福島祿壽（四四）は日滿工業取締役として就任中昭和九年七月頃市內朝日通太平アパート建築に絡み數千圓の橫領をなし同年十月頃數千圓の工賃詐欺を働き藝妓を落籍するなど贅澤の限りをつくしこれを欺瞞するため文書を僞造行使し新京署に於て取調べ中のところいつの間にか內地に逃走し別府神戶と轉々居をかへ最近大阪に潛伏中をつきとめ新京總領事館檢事々務の拘引狀により身柄は十七日新京に押送されて來たが取調べにより惡辣なる內情が近く白日下に晒される筈である

拉哈附近で列車顚覆

【チ、ハル國通】寧年〇〇隊裝甲列車第二十號は十四日午前七時頃訥河より拉哈に向ふ途中拉哈驛手前レールが寒氣のため折れて居るのに氣附かず進行したゝめ脫線顚覆搭乘の崔訥河縣長、山內同縣參事官、警乘兵一、乘務員二名は何れも全治二、三日の輕傷を負つた、急報に接し同十一時チ、ハル驛より救援列車が現場に急行、應急修理の結果、同夜八時復舊平常通り列車の運行を見た

狩獵天狗に汽車賃割引

鐵道のサービス

狩獵期となつて天狗連があちこち獲物を追ひ廻してゐるが滿鐵ではこの天狗連に大サービスをはかつて來る二十五日から滿鐵社線內の狩獵旅行者に對して二、三等に限り一人の場合は普通旅客運賃の二割引五人以上の團體旅行の場合は各人に對して普通旅客運賃の四割引の乘車券を各驛で發行する

日本特許局長官 中松氏の視察

皇帝に拜謁仰付けらる

日本特許局長官中松眞卿氏は產業狀況視察のため、二十二日午後九時新京驛着、ヤマトホテルに入る豫定で、二十三日は關東軍司令官その他を訪問、二十四日は皇帝陛下に拜謁、國務院訪問、新京市內視察、二十五日吉林を往復し、二十六日午後五時四十分新京發哈爾濱へ向ふが、三十日午前十一時齋々哈爾から再び新京に引返すはずである

營業稅負擔輕減を

當局に陳情

奉天全省商務聯合會では七月一日から實施された營業稅が餘りにも過重なるためこれが減輕につき種々打合せをなしてゐたが過日開催した商務聯合會の決議に基き奉天商務會長方煌恩、營口商務會長高永桃兩氏は奉天總商會聯合會秘書片山氏とともに十七日アジアで來京十八日朝來滿洲國財政部、實業部を歷訪して營業稅負擔減の請願並に諒解運動を爲してゐる

新京總領事館員異動行はる

新京總領事館在勤原田書記生は今回吉林總領事館へ轉任その後任として上海總領事館から小林書記生、又同館在勤淺田書記生は間島總領事館へ轉任、その後任は本省から橋本書記生來任が發表された兩後任者は廿四、五日頃來着、事務引繼を了原田、淺田兩氏の赴任は廿七八日頃となる模樣

主要都市人口調査

統計處から一般に注意

既報の如く本月三十一日を期して施行される全滿二十五主要都市人口調査の申告書用紙は十六日關係機關から各戶に配布されることとなつたが、調査の總元締たる國務院統計處では一般に對し次の注意を要望してゐる

一、各戶では申告書を必ず二通作成すること

一、本調査は日本の國勢調査と異り常住人口を調査するのであるから旅行者や一時的滯在は書入れ不要でその代り旅行に出てゐる者でも調査地の常住者は必ず記入すること

一、申告書は明か一月一日から十日迄に調査員が蒐集して所轄署に提出することになつてゐるから必ず年內に作成して置くこと

矢作水電の大ダム工事で天龍川干乾

【飯田國通】天龍川を堰止めて五萬二千五百キロ發電所を作る矢作水力電氣長野縣下伊奈郡發電所の堰堤閉鎖作業は十六日午後開の取附けを終り十七日午前五時遂に堰止め作業に成功し天龍川底千古の神秘は卅時間にして白日下にさらけ出された、本流は頑強なダムの內壁を怒濤となつて叩きつけながら一刻々々とダムの水量が增し、下流は完全に斷水し千古の蒼波を誇る天龍川も今は赤茶けた無氣味な岩肌をさらけ出し文字通り水無き天龍の骸骨を横たへ川底各處に點々たたへられてゐる水溜りには時ならぬ干乾に遭つて鯉、鰻、赤魚、鯿その他各種の魚族がぴちぴちと跳ね返りのたうち廻つてゐる

木村部隊九站匪を擊破

【ハルビン國通】石方部隊の木村部隊は十二月十二日拂曉五鳳窩附近の密林中に於て九站匪十名が山寨に據れるを發見、積雪を冒してこれを奇襲擊退した、敵の損害遺棄死體九、鹵獲品小銃彈三〇〇、山寨燒却、我損害は可子秋雄上等兵（岐阜縣）一名が腹部貫通銃傷を負つた

宇戶獸醫敍勳

新京屬獸場獸醫宇戶修次郞氏は功勞に依り勳八等に敍せられ瑞寶章を授けられる旨官報に發表された

早大野球部來春渡米

【東京國通】早大體育會部長會議は十六日午後四時から大隈會館で開催、山本野球部長から明春米國遠征計畫原案の說明あり一同異議なくこれに贊成した、早大野球部の米國遠征は九年振りでリーグ戰終了後五月中旬出發、太平洋沿岸各大學及び邦人チームと對戰、歸路ホノルルで數回試合の上七月中旬歸國の豫定である

仙人掌

扇芳會館の噂がそろ〳〵傳はつて來た、新京會館にゐた、小說を書く今村久米子君もダイヤ街ホールに移る由▲キャピタル、二十五錢で頑張り晝間四時からバンド演奏、日曜日は三時からノーレコードでやることになつた▲酒場安兵衛のフミちゃんさき頃病氣で入院加療中であつたがこの程全快。▲以前にも增しふくよかな頰に愛嬌をたゝえてサービスに餘念がない虫になど喰はせるものか

天氣と氣溫

明日の天氣 北西の風晴一時曇
日の出 午前七時九分
日の入 午後四時二分
月の出 午前〇時二十七分
月の入 午前十一時四十三分
けふの氣溫 最高零下十四度一 最低零下廿四度三

公告

昭和十一年度中當館取扱ニ係ル商業其ノ他法定ノ登記公告ハ新京ニ於テ發行スル新京日日新聞及大新京日報ニ之ヲ揭載ス

昭和十年十二月

在新京日本帝國總領事館

謝出火御見舞

本朝弊店出火の際は早速御見舞を忝し幸に大事に至ず鎭火致ました事は偏に皆樣の御盡力の賜と感謝致しますと共に御近隣其他をお騷がせ申誠に申譯なく重て御詫申上ます混雜の砌尊名御伺ひ洩等も有之可と存玆に取敢ず紙上を以て謹で御禮申述べます

昭和十年十二月十八日

東一條通 玉屋ふとん店

謝近火御見舞

東一條通十三 クロネコ美粧院 靑木若太郎

謝近火御見舞

東一條通 赤玉カフヱー 追風喜平

謹告

毎度格別の御引立を賜り奉深謝候扨弊社儀年末を控へ多大の御註文を承り居りこれ以上はかへつて御得意樣各位に御迷惑相掛け申すと存じ乍勝手來る二十日を以つて受付を締切度存候間御諒承願度此段謹告仕候

各位樣

演藝

パ社とＲ・Ｋ・Ｏの合併説起る

米國に於ける映畫事業への投資者として有名なるアトラスコーポレエション及レーマンブラザース商會は此程ＲＣＡがＲＫＯに對して所有して居る特殊の約五〇％を買收し、額面千百萬弗のものを五百萬弗で買ひ取つて斯界の注目を引いてゐる。元來ＲＣＡはＲＫＯに對して未拂込普通株の四八％を所有し、又ＲＫＯ六分利付社債の八五％を所有しその見積金額千四百萬弗に達してゐたものであるが、茲數年間に是等の經濟的權益は盡く前記アトラス會社、レーマンブラザース商會の手に收められる事になる模樣である、所が此の二社はパラマウント社に對しても相當の投資をなして居り、パ社の重役會や常務委員會にも代表者を送つてゐるので、ウオール街や映畫事業關係者の中には早くも是れがパ社とＲＫＯの合併の前兆であるとなすものが現はれ相當のセンセーションを捲き起してゐる、然し一方には此の二つの財團がＲＫＯの株を買收した以上パ社からは手を引くであらうと見るものもあり、何れとも眞僞の程は判らぬが、たとへパ社とＲＫＯが合併するとしてもＲＫＯの破産整理と改組が完成せぬ内には起り得ぬと見てゐる向きが多く、相當將來の事に屬するものであると見るべきであらう

無料入場者防止の爲 電氣仕掛の特殊裝置

米國映畫興行界の首腦部の間では最近無料入場者（顔の入場者）及混雜の際等の不正入場者の防止を圖る爲、最も徹底した有效な方法を考究中であつたが、此程詳細な具體的構造は未だ判明しないが電氣眼の裝置を持つた不可視光線の應用に依る特殊な新機械が發見され近く試驗の上實施される模樣である、是れは例の地下鐵式開閉裝置よりも遙かに完全なるもので、是れに依つて無料入場者の防止を圖れる事になり、若し是れが採用された曉には合衆國全土の劇場に於て毎年二百五十萬弗か三百萬弗の節約が出來る計算となると言はれ、その成果は各方面から期待されてゐる

長春座正月プロ一部變更

「ゴールドデイガース三六年」

虚榮の市も來る！

長春座正月プロ第二週洋畫はＲ・Ｋ・Ｏ「痴人の愛」を上映の豫定であつたが、これを變更してワーナー「ゴールドデイガース三六年」を封切ることになつた

「ゴールドデイガース三六年」はお馴染みのディック・ポーエルの主演する音樂映畫でさきに公開された「ゴールドデイガース三五年」のマヌエル・セフがピーター・ミルトンと共同脚色にあたり、舞踊監督から昇進したバスビー・バークリーが監督舞踊指揮にあたつた助演者はグロリア・スチュアート、アドルフ・マンヂュウ等例によつてこの會社獨得の絢爛たる舞台面と華麗な視覺の大遊戯が展開される

尚既報第三週の後を受けて第四週から二月上旬へかけてのプロは左の如く内定してゐる「虚榮の市」「男の敵」等大物が陸續と控えてゐる

▽第四週＝第一映畫「たつた一人の女」同「最後の幸福」
▽第六週＝蒲田「戀愛豪華版」右太プロ「箱根八里」パ社「かぼちや大當り」
▽第七週＝蒲田「與太者と若夫婦」下加茂「め組の喧嘩」R、K、O、「男の敵」

「人生のお荷物」と「噂の娘」

先頃日比谷公會堂で開催された映畫コンクールに松竹蒲田の「人生のお荷物」が入賞しなかつたことについては、心ある者をして尠なからず眉を顰ましめて居り、昨今映畫界の話題になつて居るやうであるが、滑稽なのは入賞したＰＣＬの「噂の娘」に出演した役者連で、目ばかりパチクリさせて居る、それも其の筈演技賞を得たものが一人もなく却つて入賞しなかつた「人生のお荷物」で三人も演技賞が出て居るので「噂の娘」に出た役者連ぼやいて「役者は皆下手だがシヤシンがいゝつて話は俺達にはさつぱり分らない」と言つており何でも聞くところによると入賞順が決まつてるとかいふ話もあり、そんな噂が出るだけでも、この映畫コンクールの權威が疑はれるとされてゐる

「突破無電」一つの國策映畫として

高田プロの獨立第二回作品でサウンド版村田實が監督し、鈴木傳明が高田稔と共演をする、遞信省の後援になる國策映畫として通信關係の凡ゆる機關を動員して、行はれる國際的探偵大活劇だ、チヤチなスパイ一味が遞信機關の活躍によつて一網打盡に捕縛されるあたりがミソである菅井一郎、小阪信夫、伏見信子、五條貴子等が助演キヤメラは青島順一郎帝都キネマ開館披露上映スチールは右より村田、高田、青島、鈴木の顔ぶれ

映畫 「十字軍」 —パラマウント—

時間の都合で後半しか觀れなかつた、セシル・B・デミルはやはり巨匠なのであらう、何しろ豪勢な映畫でこんな作品を作つてみたい位の氣持にはなる、要するに西洋人の精神の構造から出發して味はふべき映畫でわれらから見ると物々しい

古代裝のなかにローレッタ・ヤングが現代的なあの眼をかがやかすのだから一寸異樣な感じがつきまとふ、撮影は「生活の設計」を撮つたヴイクター・ミルナーでさすがにクライマックスへの盛り昂りなど凄まじい位のものがある、西洋人研究のために觀て置いていい、そしてヤングのほか、ヘンリー・ウイルコックスン、カザリン・デミル、アイアン・キースなどの演技を觀るべきであらう、豐樂劇場上映中（耶麿）

撮影所だより

‖松竹・蒲田‖

▽「與太者と若夫婦」配役變更……正月第一週映畫、野村浩將監督全發聲「與太者と若夫婦」に活躍中だつた川崎弘子は流行性感冒にかゝり出演不能に陷つた爲、川崎の役とき子は坪内美子が代つて出演することゝなつた

‖日活・東京‖

▽渡邊監督「ジャズの街かど」完成……新春第一週封切「ジャズの街かど」は渡邊邦男監督が徹夜續きで製作中の處、愈々撮影完了、整理に入つた

‖新興・東京‖

▽勝浦監督「大學の獅子」配役……勝浦仙太郎監督は陶山密原作脚色の顎もの、大學の應援團長が妹の戀愛事件に捲き込まれて描き出される明朗篇「大學の獅子」の製作を開始したが、配役は左の如くであるキヤメラは行山光一

龍造寺大助（河津清三郎）妹早苗（姫宮接子）須田春彦（由利健二）藝妓藤吉、（高津慶子）先輩野田（南部章三）大津社長（速見稔）娘みどり（高倉惠美子）下宿女將（野邊かほる）

‖太秦發聲・日活京都‖

▽清瀬監督「大久保彦左衞門」配役……正月物、大佛次郎原作兒井英雄脚色、清瀬英次郎監督、全發聲「大久保彦左衞門」の配役は左の如く決定、前後篇の大作として製作される音樂は白木義信、錄音は森崎欽彌が擔當

寺西登之助（黒川彌太郎）おくみ（花井蘭子）大久保彦左衞門（山本禮三郎）一心太助（小林重四郎）横澤源太夫（市川小文治）阿曾沼伊織（清川壯司）佐々鐵心齋（磯川勝彦）用人喜内（大崎史郎）惣兵衞夫人（高津愛子）太助女房（安住京子）

雜音

小太夫一座當らず、千秋樂大毎の讀者優待券を出してやつと八分通りの入り時期や場所の影響もさることながら、新京のファンは仲々に目の肥えてゐることである▼豐樂初日晝夜ともかなりの入りを見せた、夜は八分通りの入り、R・C・Aの性能も優秀、音響裝置の關係からか少しく音が籠るやうだがどんなものか▼長春座頭張る「虚榮の市」「男の敵」「泉」「Gメン」等、素晴しい作品が豫定されてある▼新京キネマの西田氏、赴阪の豫定を變更して大連に出かけた、一兩日の裡にこゝの正月プロも決定しやう▼とに角豪勢なことになつた！

今日の演藝街

△長春座＝十八日まで、阪本武、飯田蝶子、徳大寺伸、大塚君代の「大學の親方」大内弘、堀江清子の「疾風森の石松」クロード・レインズ、マーゴの「情熱なき犯罪」

△新京キネマ＝十八日より三日間、大河内傳次郎、清川荘司、鳥羽陽之助、市川百々之助、澤村國太郎の「水戸黄門全篇」

△豐樂劇場＝二十日まで、ロレッタ・ヤング、ヘンリー・ウイルコックスンの「十字軍」、榎本健一、高尾光子の「エノケンの近藤勇」漫畫、ニュース

居住消息

▲押川敏雄氏（宮崎縣）錦町三丁目五番地錦ビル百四十四號へ
▲津川哲三氏（靜岡縣）撫順から千鳥町二丁目一番地へ
▲松永清次氏（大阪府）大連から富士町四丁目日清製油へ
▲村田秀氏（高知縣）錦町三丁目第三錦ビルへ
▲山下勝一氏（兵庫縣）遼陽から同上へ
▲田中治作氏（崎阜縣）大和通り七十六番地へ
▲佐々木一郎氏（熊本縣）千早町千早寮三百三十六號へ
▲中島五六氏（熊本縣）同上

轉居

▲堀北義夫氏 興運路から羽衣町二丁目二番地へ
▲車間勇言氏 和泉町から近埠胡同四百三號電業社宅へ
▲山崎正義氏 室町から八島通り一ノ六へ
▲君島武夫氏 高砂町から入船町三丁目阿川ビルへ
▲中西近藏氏 朝日通りから蓬萊町一丁目十七番地ノ二へ
▲鍛治勇氏 入船町から日本橋通四十七番地下川方へ

出生

▲名越弘之氏（東二條通り七十七番地）長女祝子さん一日出生
▲竹藤清七氏（桔梗町一丁目四番地）四男勳さん六日出生
▲鶴原勇氏（曙町一丁目二番地）長男秀人さん十三日出生
▲西辻定彦氏（芙蓉町二丁目四番地）次男正彦さん一日出生
▲木村朝太郎氏（三笠町一丁目二十二番地）長男陽祐さん十一日出生
▲小花和重三氏（芙蓉町陸官）長女信子さん十一日出生
▲川端幸三郎氏（祝町二丁目十一番地）男謙司さん十一日出生

十二月十九日 舊十一月廿四日 木曜 己巳 佛滅 執 斗宿

●一白の人 節約を旨として一家を切り廻すに安全なり 甲と乙と丙が吉
●二黒の人 水は方圓の器に從ふ一本氣も時宜に依る事 壬と癸と丑が吉
●三碧の人 衰運を顧みず輕動して七顛八倒の苦を招く 乙と丙と丑が吉
●四綠の人 深入りして進退に窮する事あり短慮亦警戒 丙と丁と丑が吉
●五黄の人 平穩無事を期するには他事に迷を起さぬ事 辛と壬と丑が吉
●六白の人 吉凶の岐路に立つ人の指導に從ふが過なし 乙と辰と辛が吉
●七赤の人 大望をも成就し家道繁榮を呈すべき幸運日 辰と丁と壬が吉
●八白の人 喜悦續發する日 金談縁組開店名弘凡て良好 壬と癸と丑が吉
●九紫の人 他事に係はらず常業に從はゞ過ちなく安全 庚と辛と丑が吉

防空獻金現況報告

特別市公署及居留民會扱（金單位錢）四〇崔立功、八六李文華、四四許然來、四二趙文波、八〇趙華林、六〇王心田、八六李治邦、八六李鴻洲、六〇董方祥、八六梁富、八〇陳占春、八六張朝露、八六李樹馨、八六劉寶庭、八六張洪福、八六王乃風、八六趙有、八六葉百良、六〇喬金良、六〇盛萬春、六〇曹惠珊、四四王壽庭、四四喬金鐘、四四白子良、四二周祿、四二梁滋爾、八六林錦章、四二韓振聲、八〇張天民、四〇盧長發、四〇張玉堂、五六王福臣、八六劉漢令、六〇王志嶺、四四新長福、六〇丁宗九、六〇錢芳春、四二丁云屏、八六張樹田、四二葉化南、四二王治國、四二朱金升、二〇邸維威、二〇盧汝恭、二〇郭蔭錫、二〇韓炳座、二〇徐錦軒、二〇劉萬兆、二〇王福廷、二〇葛立宣、二〇周顯明、二〇徐純一、二〇張良富、二〇白有林、二〇王張如久、二〇徐鳳吉、二〇劉慶雨、二〇清和藥房、二〇張化東、二〇忠善堂、二〇韓世山、一〇丁汝勤、二〇張仲爵、一〇張耀林、二〇范川善、一〇李春榮、一〇胡高彥興、二〇王文元、一〇賈壽山、二〇李長有、一〇王兆年、二〇吳運堂、一〇秦禎秀、二〇李鵬鳴、一〇王玉山、一〇王萬才、一〇李敏函、一〇劉張敏秋、一〇安耀臣、一〇張俊會君、一〇劉洪鐘、一〇曹純一峯、一〇周玉秋、計一〇五九一四

一九三五年經濟界回顧 15

課税權の委讓近づく― 滿洲國税法の略貌 多幸な一九三六を期待す

滿洲國治外法權撤廢に伴ふて當然に行政權の委讓が行はるゝ筈で、課税權もまた從つて滿洲國に移行することとなるわけだ。ところで、現在滿洲國では自國人にいかなる税を課してゐるか？

× ×

滿洲國では建國の精神、民衆の生活、國家經濟の狀態等を考慮！、又將來の發展に備へて鋭意租税の合理的改善を圖つた。その内、特に日本人に對する課税問題の調整については特別の考慮が拂はれた。整理改善の主なるものは、國税及び地方税の劃分が第一に擧げられる。現在、國税には關税、順税、鹽税、田賦、契税、鑛税、煤税、牙當税、銷場税、牲畜税、漁税、出産税、酒税、煙税、統税、印花税があり地方税には車捐、船捐、廟捐、妓捐、戯捐がある

× ×

現に問題になつてゐる營業税についてその率を略示すると

物品販賣業（小賣）千分の五或は六
製造業　千分の四或は六

右は一年の賣上金額八百圓未滿ならば課税されない、その他、無盡業（收入の千分の二〇）金錢貸付業（收入の千分の四〇）印刷業（千分の一〇）興行場料理飲食店業（千分の一五）旅館業、湯屋業、理髮業等（千分の二〇）等の區別があり、法人については、純益の百分の六となつてゐる。

× ×

傳へられてゐる所の滿洲國政府の邦人の課税方針は次の如きものである。

日本人に對する課税は最初の年には滿洲國税率の四分の一を課し、漸年四分の一を加へて全額に達する

× ×

大局的見地より見て、この税法に服すべきことが要求されるであらう。實施は大體來年七月からと豫測されてゐる。

× ×

（年末多端、つひ走り書におはつた。ペンを擱くに當り多幸な新しい年すべての人の上にあれと希つて置く）

十一月中に食つた肉類四萬五千貫 素晴らしい國都人の食慾 寒氣と共に增加

寒氣が募るにつれて自然脂肪分の多い食物を攝取するので市内の肉類の需用は恐ろしく多くなつて來た、十一月中附屬地屠殺場で殺した牛、馬、豚、羊の頭數は二千十八頭、肉量四萬五千三百七十三貫といふ數字を示し、全部市民の胃の腑に入つてゐる譯だ、これが内譯を示すと

△牛二八五頭一七、一一二貫△馬一三〇頭二、七八〇貫△豚一、五二二頭二四、八〇三貫△騾馬一二頭二八八貫△驢馬三頭三五貫△羊六六頭三五五貫

である、次に牛乳を示すと乳牛百五十頭で搾乳量百七十七石四斗九升、内販賣量百二十七石八斗で此の金額八千四百七十圓に上つてゐる

電燈の需要激增

近來國都の目覺しい發展につれ新京市民の使用する電力も著しく增加してゐる、十二月十日現在に於る電燈數は附屬地十萬七千燈城内五萬四千三百燈、新市街四萬五千燈、其他合計廿一萬五千六百七十三燈で、電力量は小口五千五百キロワット、大口七千四百キロワット、電熱千九百キロワット、何れも激增を來してゐるが、之は多期に入ると夜が長くなり、室内娛樂或は夜業が多くなり一面では新發電其他の發展につれて、夏期からの住宅が一段落付き、新住宅となつて電燈の需要を起したためである

米國汽船會社 十萬噸客船二隻建造

【ニューヨーク十五日發國通】ユナイテッド・ステート汽船會社では十萬噸級客船二隻を建造すべく目下米國政府に補助申請中なる旨發表した右新船舶は大西洋の女王フランス汽船ノルマンヂー號を遥かに凌ぐ巨船で新計畫船の精能は左の通りである

一、噸數、十萬噸
一、隻數、二隻
一、建造費、五千萬弗
一、裝備、飛行機發着裝置 煤煙の自動清掃裝置
一、全長、千二百五十呎
一、最大船幅、百四十四呎
一、速力、三十四節
一、船室總數、五千室
一、收容船客數、一萬人
一、大西洋航行所要日數、四日半

昭和十年度歲出入國庫現計

【東京國通】大藏省發表＝九月卅日現在に於ける昭和十年度歲入歲出國庫現計は左の如し（單位千圓）

歲入	經常部	三六七、〇九三
	臨時部	三一六、七六八
	計	六八三、八六二
歲出	經常部	四三六、二九六
	臨時部	二三五、八七〇
	計	六七二、一六七

而して經常部歲入の主なる内容について見るに租税收入の如きは軍需工業外國貿易の殷盛を反映して所得税、關税等に著しき躍進を示し前年同期に比し二千五百七十五萬七千圓の激增をみせてゐる

日銀參與會開催

【東京國通】日銀參與會は午後二時半より日銀に於て開催され日銀側は深井總裁及び各理事、大藏省よりは上山、櫛田、伴野各檢査官が出席した先づ深井總裁より最近の金融狀勢殊に年末金融は平穩無事に越年の見込みと說明、次で當面問題につき意見の交換を爲し四時散會した

鮮鐵請負經營に關する滿鐵納付金引下

【大連國通】北鮮鐵道の滿鐵請負經營に對し總督府に納付さるべき納付金は昭和八年十月該鐵道の請負が決定すると同時に二ヶ年間の期限を以て年四分、百六十萬圓として今日に及んでゐるが、右鐵道の收益は昭和九年度に於て僅か二百十萬圓に過ぎず之に對し百六十萬圓の納付金は滿鐵の苦痛とするところであるとし去る十月の契約更新期に際し滿鐵、總督府間に於て之が引下げの交渉を行つた結果昭和十年度分より年二分、八十萬圓に引下げることに決定をみた

東北冷害原因調査の爲 北海々上の流氷調査

【清水國通】中央氣象臺出張所主任三[illegible]飛行場主根岸錦藏氏は東北冷害の原因に就き調査してゐたがオホーツク海の流氷調査の目的で明年一月早々九二式飛行機で同方面の偵察を爲すべく北海道の見國女滿別飛行場に向ふ事に決定目下準備中である、本年三月の第一回調査で千島方面は大したことがないと判つて今回は樺太海上の流氷狀況を調査すると

紡聯生産調整委員會

【大阪國通】日本紡績聯合會では重要對策委員會に於て組織强化、生産調整、輸出促進の三小委員會を組織して根本對策を考究し組織强化に關しては略々討議を終へたので十七日午後二時より生産調節に關する委員會を開き各委員の意見を纏めるが生産調節は紡聯組織强化の問題と不可分關係あり原案成立迄には相當の困難を豫想される、殊に資金關係賃銀問題の行詰り情勢に際し鐘紡、東洋紡、日本紡等の一流會社の朝鮮進出に倣つて群小會社の朝鮮進出を企てるもの續出するとみられて居り紡聯のカルテルとしての機能に關し行詰りが傳へられて居るだけに今後の成行は大いに注目されてゐる

新米公定價格 最高二十三圓廿錢

【東京國通】新米の公定價格を決定すべき米穀統制委員會は午後三時半より農相官邸で山崎農相以下兩次官森參與官荷見米穀局長等出席し山崎農相より挨拶あり次いで荷見米穀局長が最近の米穀事情の報告を爲し物價を參酌したる新米の生産費等を說明し、新公定價格の原案を提示し協議に入り結局最高價格は昨年に比し一圓七十錢高の三十三圓二十錢、最低價格は同じく五十錢高の二十四圓八十錢と決定して同六時十五分散會した

生糸需要增進調査會 農相官邸で開催

【東京國通】第九回生糸需要增進調査會は十七日午後二時より農相官邸に於て井阪委員以下十四名出席、政府の「生糸の新規用途及び販途に供するため一部買却委託輸出に關する」の諮問に同意の申答を爲し「試驗研究用に讓與」の件にも諒解を與へ三時半閉會した

日銀週報

【東京國通】（單位千圓）

發行兌換券	一、二三三、〇五一
正貨準備	五〇一、四五六
保證內譯	
公債	[illegible]
政府證券	[illegible]
手形	[illegible]

長江

小山滿洲評論代表の說く所は、興味深い、一寸紹介しよう、支那幣制改革劇の眞相は次の通りであるさうだ曰く「蔣の彈藥庫がストック減り金が入用になつた、ジョン・ブル何とかして支那に恩を賣り、自己の東洋に於ける權益を擁護する必要を生じた、でロス君は東京で廣田に共同して金を貸そうと申込んだが、今支那に貸すと軍費に使つて内亂を助長させるばかりだからとあつさり振つた蔣がロスに泣きついた一九三九年になつたら日本に實力制裁を加へてやるからと慰めた、それからがロスの孔宋相手の活躍となつた」といふのである▲更に英の對支貸款について「成る程これは借款ではない、香上銀行が中央銀行に現銀を預金して、中央銀行が香上銀行に紙幣を預金しただけの話だ」「この次は支那の中央銀行票が奉天票やマルクみたいになる番」との事

商況欄（十二月十六日前場）

海外經濟電報

倫敦銀塊	二四弗八分七
同 先限	出來不申
紐育銀塊	五八仙四分三
孟買銀塊	五五留比二分一
米英爲替	四弗九二仙七分七
米日爲替	二八弗七八仙
米支爲替	二九弗八〇仙
スチール	四五弗[illegible]分一
アナコンダ	二六弗[illegible]分七
英日爲替	一志二片三分一
英支爲替	一志二片四分三
印日爲替	七七留比八分三

▲米棉 現物 一一仙八〇

▲印棉

十二月限	一一仙四五
一月限	一一仙四二
三月限	一一仙一五
五月限	一〇仙九七
七月限	一〇仙八七
十月限	一〇仙六三

ブローチ	二一七留比
オームラ	一九九留比
ベンゴール	一四八留比

▲市俄古小麥

十二月限	一〇一仙二分一
一月限	九八仙〇〇
三月限	八九仙八分〇

▲カルカッタ麻袋

當筋	二四留比一六分九
鐵筋	二二留比八分七

金銀市況

●上海標金

昨引	二四七、〇〇	二四七、六〇
本寄	二四八、一〇	[illegible]
步	四七、五〇	[illegible]

●大連金鈔票

寄付	四七、〇〇	
引	[illegible]	
現物	[illegible]	
出來高	[illegible]	
十二月廿八日限	九三、六〇	
寄付	[illegible]	
步	[illegible]	出來不申

引 [illegible]

●大連鈔票銀大洋 現物 [illegible]
●奉天國幣金票 現物 一〇〇、〇〇
●哈爾濱國幣金票 現物 一〇〇、〇〇
●安東國幣金票 現物 一〇〇、〇〇

爲替相場

▲上海爲替

▲日本向 第一回賣 一〇三、〇〇 第一回買 一〇三、五〇 第二回賣 ― 第二回買 ― 第三回賣 ― 第三回買 ―

▲倫敦向 第一回賣 一志二片三分一三 第一回買 一志二片三分一五 第二回賣 ― 第二回買 ― 第三回賣 ― 第三回買 ―

▲紐育向 第一回賣 二九弗一六分九 第一回買 二九弗一八分五 第二回賣 ― 第二回買 ― 第三回賣 ― 第三回買 ―

▲大連爲替

▲上海向 一〇九、五〇 八、九〇 七、八〇 七、六〇 八、〇〇 七、五〇 七、六〇 六、〇〇 七、二〇 五、三〇 出來高二〇萬

▲煙台向 一〇九、六〇 九、〇〇 六、〇〇 六、一〇 七、二〇

▲阪神日米爲替 第一回賣 二八弗四分三 第一回買 二八弗[illegible]分三

▲阪神日英爲替 第一回賣 一志二片〇〇 第一回買 一志二片一分一

株式相場

▲大阪株式（短期）

	寄	引
大新	一〇〇、九〇	―
鐘新	[illegible]	―
東新	[illegible]	[illegible]
日産	[illegible]	[illegible]

▲大連株式（短期）

	寄	引
五品	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
鈔新	[illegible]	[illegible]
鐵新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
拓新	[illegible]	[illegible]
二新	[illegible]	[illegible]
日産	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	―

▲奉天株式（短期）

	寄	引
取新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
日産	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	―

商品市況

▲大阪棉糸（寄・付）十二月限、一月限、二月限、三月限、四月限、五月限、六月限 [illegible]

▲大阪棉花 當限、先限 [illegible]

▲大阪人絹 當限、先限 [illegible]

▲大阪期米 當限、中限、先限 [illegible]

特產市況

●大連大豆 袋入、十二月限、一月限、二月限、三月限、四月限 [illegible]
●同 豆粕 現物、一月限、二月限、三月限、四月限、五月限 [illegible]
●同 豆油 現物、一月限、二月限、三月限、四月限、五月限 [illegible]
●同 高粱 現物、十二月限、一月限、二月限、三月限、四月限 [illegible]
●哈爾濱大豆 一月限、二月限、三月限、四月限 出來高 一八車
●同 小麥 [illegible] 出來高 六〇車
●神戸豆粕 十二月限、一月限、二月限、三月限、四月限 [illegible]

新京取引所市況（十二月十六日前場）

●大豆 現物（一石値段）特（混合百片値段）寄 引 出來高 [illegible] 七車
現物、十二月限、一月限、二月限 [illegible]
●高粱 現物 [illegible]
鈔票對金票 二十八日限 十三日限 [illegible]
寄 引 出來高 [illegible]

誰が殺したか（上映上演） 國枝史郎 作 館造寺謄 畫

第二の殺人 一六二 三五

『なあにね、職人と一緒に屋根にのぼつたが、歸る時に運惡く喪れてしまつて、たうとう郵の外に出そびれて、一晩雨風の中でぐつしよ濡れになつただけのこつてすよ。』

いかにもまことしい說明である。

植原にしてみれば、何が何でも、百二十九號脱獄を思ひとゞまつてくれた事は嬉しいことだつた。思はず大金の誘惑に眼がくれて、大外れた脱獄の手傳ひをしたが、お陰で今朝五時の交代さ家へ戻つてから一睡もできなかつた。これで弓子を通じて貰つた金が、そつくりそのまゝ戻るものなら、それに越た幸運はない。

彼は無言で、濡れた包みを取つて監房を出て行かうとした。そこへ慌たゞしい足音が入亂れて聞えた。眞先に立つてゐるのが赤城探偵である。

『百二十九號はゐるか、獅子内はゐるか？』と、植原の姿を見ると、赤城は血走つた眼をくるくるさせて呼びかけた。

『は、居ります』

植原は恐怖の聲と共に、上づつた聲で返事をした。

『なに、ゐる？』

『は、居りますが、どうかなさいましたか？』

『うむ』とだつただけで、赤城探偵は返事をしなかつた。彼は百二十九號の監房を覗き込むと、相變らず床の上にあぐらをかいて、ぼんやり考へごとをしてゐる獅子内を、穴のあく程見つめてゐたが首を振つて嘆息した。

『不思議だ、不思議だ。あれは正しく獅子内に違ひない、俺は馬鹿になつたんぢやないのか？氣が狂つたんぢやないのか、やい、貴樣は忍術が使へるのか忍術が！』

鬼探偵赤城ともあらうものが、半狂亂の體で血笑鬼に恰つてかつた。中央線に於ける木下老死が、たつた今、急報された許りのところなのだ。半狂亂となるのもあながち無理ではなからう。併し、百二十九號獅子内は、蒼い頰にかすかな冷笑を浮べたまゝ身動き一つせず、靜かに靜かに冥想に耽つてゐる。

戸外は歡樂の巷淺草の雜沓だ、がこゝ東京座の舞臺には一種云ふべからざる莊嚴の氣が滿ち滿ちて息づまらんばかり、『血笑鬼大殺陣』大詰の場である。

觀客達はこれまでの、次から次へと行はれた慘虐眼もあてられぬ殺人に心が奪はれて、身動きもとてない有樣だ。曰く、第一場星男爵未亡人の死、杉野前支那公使のトランク發見、第三場富士野淳一の溺死、出現、第二幕第一場帝國ホテル秋山セキ子嬢の慘殺、第二場野淳一の更生と女龍之助の死、三場血笑鬼の逮捕、第三幕第木下老人列車中の慘死、そして第二場法廷である。

被告席には尾上菊三郎の血笑鬼獅子内弘が蒼ざめ冷然たる微笑を浮べて[illegible]る。彼の眼は今、證人席て熟辯を振ひつゝある[illegible]殊かも彼が裁判官で有落着きすまして眺めて

【裁判官ならびに[illegible]と、赤城探偵に扮[illegible]こでどう研究した[illegible]つくりの口調で[illegible]『最近數ケ月の[illegible]い殺人事件が東[illegible]しました。そして[illegible]も今日までは未解[illegible]れていが警察當局[illegible]ばはりをされ、その[illegible]はれる様な始末つと[illegible]

（この篇[illegible]

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一ヶ月壹圓五錢 一部五錢 郵稅
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用三二二五 營業部專用三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

冀察政務委に對する我が陸軍中央部の態度

"民衆自治要望の期待に添へ" 委員會の權限を明瞭に

わが陸軍中央部に於いては昨日正式に成立を見た冀察政務委員會が果して北支の民衆自治實現要望の期待に添ひ得るものであるか、それとも南京政府が巧妙にこの新政權に壓制を加へ、委員會はその處理事項悉くを南京の指令を俟つ要ある如きものなりや否や、若し後者の如しとせば北支自治の意義は充分徹底し得ぬものであり、委員會が持つ所の權限をこの際はつきりさせることが最も緊要であると見てゐる

北支新事態につき嚴重注意を喚起

須磨總領事何應欽氏を訪問

【南京十八日發國通】須磨南京總領事は十八日午後三時軍政部に何應欽氏を訪問し一時間に亘つて重要會見を行つたが右會見に於て須磨總領事は冀察政務委員會の成立に關し宋哲元氏が委員長に任命されたが國民政府は之に對して何等の權限も與へず結局冀察政務委員會を實質に於て過般の政務整理委員會と何等異る所なきものとせんとし、河北民衆の要望を完全に蹂躪せんとしてゐる事態が此儘推移するに於ては我方としては河北の自治防共の點から多大の危惧を懷かざるを得ない、河北の自治に關し國民政府の愼重なる善處を希望すると嚴重注意を喚起し、更に最近の北平及び南支の學生自治反對運動が次第に排日運動に轉化せんとする傾向にあり、邦交敦睦令に違反する事甚だしき點を指摘して國民政府の取締を要求した、之に對し何應欽氏は須磨總領事の申入れを諒とし愼重考慮する旨を答へた

右學生のデモは北平の學生運動に刺戟されたもので別に過激な行動にも出でず終始したが共產分子の煽動もあるものゝ如く嚴重警戒されてゐる

北支狀勢に對する英國の認識深む

―クライブ大使歸任挨拶―

【東京國通】駐日イギリス大使クライヴ氏は十七日午後外務省に重光次官を訪問、轉任の挨拶をなしたる後北支問題並に支那幣制問題其他の事態につき相互に情報を交換して懇談したがクライブ大使はリースロス氏が幣制改革に暗躍したとかイギリスが北支の事態を曲解してゐるとかの說明をなすものがある樣だがイギリス政府の東亞政策就中對支政策は日本の諒解なしには何事も積極的に行はぬ方針であり此點日本政府に於ても誤解なき樣希望すると述べイギリスが北支民衆自治運動の事態に就き漸く妥當なる認識を深めつゝある旨を强調した、重光次官は之に對しイギリスの東亞政策は漸次我國民の感情にも透徹すると思ふがイギリスは此際日本の大陸に對する不脅威不侵略の原則の根本につき更に贊成の態度を採るべきものと確信する

と述べクライブ大使も之を諒として五時會見を終り直ちに大臣室に廣田外相を訪問し同樣轉任の挨拶を述べると共に一般支那問題に關し懇談した

蔣介石の紅軍討伐 戰意を失ふ

紅軍の貴州入り近し

蔣介石の紅軍討伐は近來とみに振はず、目下紅軍追擊中の諸軍の如きは唯中央に對する面子上、極めて緩慢なる面目的進軍を行つてゐるかの觀を呈してゐるが、最近漵浦附近にては賀竜匪軍約四萬の爲湖南軍が擊破され、同匪軍は依然南下を續行しつゝあり、十四日には武庫、綏寧、(貴州省境)の線に進出した、之に對し追擊中の劉建緖軍は主力を源陵に集結したが士氣振はず徒らに面目的追擊を行ふのみにして、寧ろ匪軍の速かなる貴州入りを助成しつゝあり、徐源泉軍も類似の失敗を重ね最近中央より河南、安徽省境に移動を强要せられ、漸次反中央的色彩を濃化し戰意も消滅したので、匪軍は何等の障碍もなく目下貴州に進軍しつゝある

宋哲元軍 天津以西に移駐

【天津十八日發國通】天津以東地區に進入した宋哲元軍は商振軍との間に誤解の發生するを惧れ俄かに又も天津以西地區即ち楊村、廊坊方面に移駐することとなり、本日中に移動完了の筈であるが、軍糧城、塘沽は冀東自治政府の寧河縣に屬することが宣言によつて決定をみたので該地方面は趙雷氏の保安隊により完全に接收されてゐる

天津大學生三千名

北支政治改善促進請願 背後に共產分子の策動か

【天津十八日發國通】今朝十一時頃天津南開大學の男女學生を中心とする約三千名が北寧公園グラウンドに集合、市內を游行しつゝ市政府に赴き北支政治の改善促進を請願、更に支那街目抜きの通りを示威游行し午後五時過ぎ南開大學に歸還解散した

行政院各部

政務常務次長決定

【南京十八日發國通】本日の行政院會議は行政院各部の政務、常務次長を左の如く決定した(政務、常務の順)

△內政部　陶履謙(留任)　張道藩
△外交部　徐謨(留任)　陳介
△實業部　劉維熾(留任)　周　春
△交通部　俞飛鵬(留任)　唐有壬
△鐵道部　曾養甫、曾鎔浦

尚右の外財政、軍政、海軍、敎育各部の政務常務次長並に蒙藏、僑務兩委員會の正副委員長何れも留任した

張外交部長 就任の抱負述ぶ

【南京十八日發國通】國民政府新外交部長張群氏は十八日午前十一時記者團に對し左の如く語つた

自分は一個の革命軍人出身で二十五年間軍事內政に從事、外交の專門家ではないが今後はベストを盡し國交改善、國際友誼親善に努力する考である、國民政府の外交方針は國內的には平等獨立の基礎を築き國際的には永久平和の確立に努めんとするもので此方針は如何なる事態の下に於ても變更あるべきでない、即ち五全大會で蔣行政院長が明かにした如く主權を侵さざる限り友邦とは親睦を旨とし政治的協調を圖り互惠平等の原則に基き經濟合作を圖り平和のため最大の努力を致し國家の基礎を固め民族復興の目的を達成せんと考へるものである

現在中國は國際間にあつて特殊の義務即ち不平等條約の義務を負はされてゐるが之が時代遲れであり不合理なことは言ふ迄もない、之等の除去のためには合法的な忍耐の精神を以て臨む考へである、願くば列國も中國の此合法的要求を認め、之が達成に援助されたい、國際間の相互信用は國際平和のため必要で各國爲政者は相互に誠意を以て之に當る必要がある、今後は國民政府は各國殊に日本に對しては誠意と相互信用を以て臨む考へで、之は中國のため利益となるのみならず世界平和に貢獻するものなることを信ずる

英國新提案の實質は依然たる差等比率

優勢海軍國の地位確保策! 我が主張と全然背馳

【ロンドン十七日發國通】英國提案の建艦宣言案は豫備會商當時の案と同樣のもので向ふ六ヶ年の建艦計畫を各國が持寄り協議の上自主的一方的に宣言し、若し一國が變更を必要とする場合に於ては各國の相談によるものとするものので形式的には自主的一方的となつてゐるが實質的には協定により從來同樣差等比率を設けんとするものである、確聞するに委員會席上我代表永野全權が

英國はその基準を現有勢力に置くものなりや

と質問したに對しモンセル海相は

大體然り、然しエラスチツクなものである

と答へ、永野全權が更に

英國案は縮小には觸れてをらず軍縮精神に背いてはをらぬか

と突込んだのに對し單に

縮小には贊成である

と極めて曖昧な答辯を爲した要するに豫想の如く英國案は比率主義をカムフラージュし優勢海軍國として飽くまでその地位を確保し日本を劣勢比率に束縛せんとするもので我が共通最大限の原則と全然相容れぬものである

米國側持論を固執 日米私的會談物別れ

【ロンドン十七日發國通】永野、永井兩全權は岩下委員、寺崎書記官、溝田通譯を帶同十七日午前十時宿舍に米代表部を訪問した、米代表部ではデヴイス首席全權の外スタンドレー作戰部長、フイリツプス國務次官其他出席一時間半に亘り日本の共通最大限につき會談を遂げたがデヴイス代表並にスタンドレー作戰部長等は豫備會談當時の持論を固執して讓らず事實上物別れのまゝ會見を終つた

治法撤廢方針に就き 外相諒解を求む

【東京國通】日滿郵便條約に關する樞密院本會議は既報の如く原案を可決したが、荒井委員長の報告後廣田外相は日滿郵便條約締結に關聯して滿洲國に於る我治外法權撤廢の方針に就て

滿洲國の健全なる發達を助成するため帝國は滿洲國の行政、法政其他の整備を待つて先づ郵政權、課稅權を移讓し更に司法制度の完備を俟つて裁判權も移讓する方針である

と述べて諒解を求めたに對し二、三顧問官から

治外法權撤廢と言ふが如きは輕々しく取扱ふべきでなく飽く迄愼重を期して行ふべきだ

と希望的質問があつた

商業登記、同稅法 本日公布さる

滿洲國商業登記法及商業登記稅法は今日公布されるが、登記制度は私權の發生變更及消滅の公示であつて之が記錄に國家機關が關與するものであるから正當なる權利又は利益の保護を任とする司法機關をして之を管掌せしむるを以て最も其の當を得たるものと謂ふべきである然るに滿洲國の商業登記に關する現行法制を觀ると實業部、市政公署又は縣公署に於て之を取扱ひ管轄機關を一、二にするのみならず其の手續法規極めて不備で運用上幾多の支障あるを免れざる實狀にあるを以て司法機關をして商業登記を管掌せしめ且つ其の取扱手續の整備を期せんとするものである、又商業登記に關する手續法且つ稅法として「商業註册暫行規則」及「公司註册暫行規則」が從來援用せられて居たが今度手續法として商業登記法の制定をみたので更に新たに登記稅に關する法規を制定したものである

滿獨通商條約締結 來春早々具体化せん

期待される滿洲大豆の前途

ドイツ經濟使節キープ公使一行は約廿日間滿洲各地を視察其間滿洲國當局と數次に亘つて滿獨貿易調節につき懇談具體的結論を得て過日東京に向ひ日本側と再び懇談を重ね具體的折衝を行ふ筈であるが滿洲國側よりも松島實業部農務司長、伊藤財政部文書科長、加藤外交部商政科長は去る十六日新京を出發東京に向つた右は滿獨貿易調節につき具體的に通商條約締結の細目的協議を日本の仲介によつて行ふものである、難關視された大豆貿易問題が斯くも順調に進んだのはドイツの必需品である大豆の輸入には對日輸出超過による爲替資金を滿洲大豆の輸入爲替資金に振當てる以外に途なく、結局此意味に於て通商條約の締結に迄運ぶ手筈になつたものと推測せられる、勿論同條約の締結迄にはドイツの對外關係も顧慮せねばならず相當の迂餘曲折が豫想せられるが來春早々具體化の運びと期待せられる

"日滿獨通商貿易は非常に有望" 獨逸視察團門司着語る

【門司國通】ドイツ經濟視察團々長キープ博士一行は約二十日間に亘る滿洲視察を終へて十八日午前九時大連より寄港のバイカル丸で再度來朝海路東上した、キープ博士は滿洲視察に就て船中左の如く語つた

奉天、新京、ハルビン、大連の各都市を視察し非常に好印象を受けた、經濟的機關も著しく整つてゐる、滿洲國當局實業家と滿獨通商貿易に關して意見を交換した、日滿獨の通商貿易は非常に有望だと思つた

滿洲大豆の輸入に就てもドイツ國內の需用に俟つべきで將來通商貿易上何等かの協定が必要である、日本の片貿易調整の輸入割當てに關する主張と吾々の主張との間には未だ大分開きがあるので此の點に就て外務省と意見を交換し二週間位滯在の上支那視察の途に上りたいと思つて居る

數品目 明年一月上旬最後決定

關稅定率改正は

【東京國通】大藏省では來る第六十八議會に提出さるべき關稅定率法中改正法律案の內容種目に關して目下關稅調査會幹事會で協議研究中であるが、目下議會提出に內定せる稅品目は鑛油關稅引上げを始めとして大體左の數品目で最後決定は明年一月上旬の豫定である

一、香料(レモン油、シトロネラ油)

右は現在無稅のものを最高五割程度まで引上げる

一、パラフイン

右は液體に就て無稅、固體に於て百斤につき十二圓となつてゐるものを固體に就ても無稅とする

農事試驗場官制一部改正

滿洲國農事試驗場官制中改正の件は本日勅令を以て公布されるが北滿中部地帶に於ける適種作物の品種育成並農業改良の試驗研究の必要上舊北鐵附屬哈爾濱農事試驗場を接收の上哈爾濱農事試驗場として其の業務を繼續することとなるものである

農事試驗場官制中左の通り改正す

第二條 農事試驗場を通じて左の職員を置く

場長 三人 薦任
技佐 十二人 薦任
屬官 六人 委任
技士 二十五人 委任

附則

本令は公布の日より之を施行す

又實業部は部令を以て右試驗場の名稱及位置を左の通り定めた

名稱 哈爾濱農事試驗場
位置 哈爾濱特別市

臨時土地制度調査會 會議終る

臨時土地制度調査會會議最終日たる十八日は午後一時から關東軍會議室に於て土地制度の基礎的大綱方針を決定する上に必要なる重要議案に就き各委員の意見開陳並に討議を行ひ、三日間に亘る第二回調査會々議を終了したが、昨日審議された重要議案に就ては更に專門小委員會を設け第三回會議開催迄に其小委員會案を決定、討議する事となつた尚今回の第三回會議は第一回の研究事項に基き土地制度の基礎的諸準備を整へる爲の大綱方針を協議したが大體の目安がついたので次回會議までには大綱方針の具體的原案審議の運びとなる模樣である

人事往來

▲阪谷希一氏(中央銀行監事)十八日午後大連へ
▲染谷保藏氏(盛京時報社長本社代表)同奉天へ

航空往來

▲梅澤三雄氏(三井物産)十八日午前大阪へ
▲山瀨正雄氏(航空兵中佐)同山海關へ
▲筑紫熊七氏(滿洲國參議)同
▲大藤傳治郎氏(參議府事務官)同
▲川村二四郎氏(正金銀行員)同午後ハルビンへ
▲井口大輔氏(奉天日本電氣會社員)同奉天より
▲沼田少佐 同
▲石原才太郎氏(黑河特務機關囑託)同黑河より
▲岩下大尉同ハルビンより
▲伊藤義雄氏同奉天より
▲長岡勵氏(航空會社ハルビン管區所)同
▲中井中佐 同

慌しい歲の暮にも樂しいのはクリスマスで、內地の大都市あたりでも近頃は信徒に限らず一般大衆も加つて年々盛んになつてゆくやうだ▼新京でも來る廿一日基督敎男女青年會主催、各敎會後援の下に市民クリスマスの催しを計畫してゐるが、新京では初めてのことでもあり相當人氣を呼んでゐるやうである▼クリスマスはいふまでもなくイエスキリストの誕生を祝はうといふにあるのだが、それは必ずしも信徒に限らない、信徒外の者とても共に祝ふことに何らの不都合はないはずだ▼この際來るべき市民クリスマスを盛んに迎へたい▼新京特別市を始め滿洲國主要都市の第一次臨時人口調査は本月末現在を以て行はれる、これは日本の國勢調査と目的を同じうするものであるが▼たゞ日本のそれと違ふのは現住調査ではなく、常住調査で、たとひその日不在であらうとも常住してゐる者であれば記入されてよい譯だ▼一部に誤解はないでもないから、こゝに當局者に代つて注意して置きたい

社說

北支更生の輝しいスタート

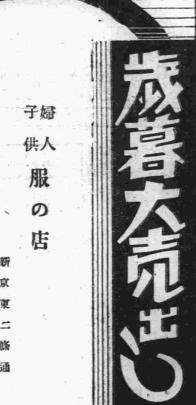
冀察政委の成立

去る十月二十日河北省香河縣に烽火を擧げた農民自治運動は漸次華北各省に擴大し
一、北支人の北支建設
一、國民黨からの離脫
一、赤化防止
の三大スローガンの下に南京政府の執拗なる彈壓懷柔を排擊して苦鬪こゝに二ケ月、遂に自治を達成し冀察政務委員會の正式成立により明朗北支建設の輝しい第一步を踏み出すに至つた、自治運動の當初においては所謂北支五省の聯省自治體結成が豫想されてゐたが、河北、チャハル兩省を除く山東、山西、綏遠三省の自治合流は省政府首腦者の中央との政治的關係によつて阻止され宋哲元氏等自治派實力者によつて河北、チャハル兩省のみを結合せる自治委員會が確立されたものである、然し乍ら先に戰區に樹立された冀東防共自治委員會といひ今次の冀察政務委員會といひ國民黨多年の秕政と共禍に抗して蹶起せる北支一億萬民衆の力をバックとして結成されたものであるから前記三省の政府要人が欲すると否とに拘らず民衆の自治に對する熾烈な要望は近い將來に五省聯省自治を貫徹するものと信ぜられる。

◇

而して右委員會は
一、日本との完全提携
一、共產黨の排擊
一、日滿北支の經濟提携
一、貪官汚吏の排除
の四大要綱の下に軍事、外交、財政、經濟、交通、人事等に關し廣汎なる地方自治の權限を獲得せるもので外交、人事の權限に關しては現在の西南政務委員會並に蒙古自治政務委員會は勿論事變前における張派の舊東北政權すらも有せざるものであつて、今次の北支自治政權が如何に自治の實質を把握せるかが察知出來るのである。

◇

北支更生は委員會の成立によつてスタートした、我々は委員會の手によつて明朗北支建設が健實な步みを運んでゆくであらうことを確信するものであるが、これがためには日滿兩國の經濟的、精神的協力が必要缺くべからざるものなることも疑はないのである、即ち北支の豐富なる資源は日本の資本と技術の協力をまつて始めて開發され疲弊せる北支を更生せしむることが出來るのであつて、南支財閥の支配下に放置し依然として軍閥の植民的搾取をほしいまゝにせしむるにおいては北支の明朗化は百年河淸を待つに等しいといはなければならない、北支は日滿支共存の合作地帶であり支那更生の素地をなすもので新東洋建設は實に北支建設の成否如何にかゝつてゐると云つても過言でない、我が軍においても北支民衆の救濟と福祉增進をはかる爲常に

公明正大なる態度を持し去る九月發表された所謂「多田聲明」にも又政府の對支根本方針にもある如く日滿支の提携、赤化共同防衛並に滿洲國の事實上の承認

の三大法則の下に國民黨による搾取主義の排擊、共存共榮の確立を意圖しこれが實現のためには嚴固たる威力の随伴をも辭せないといふ極めて熱誠ある態度を表明してゐるのである、然し乍ら北支建設の

將來は金融經濟の整備改革、產業の開發、歐米勢力の壓迫排除等多岐多難である、我々は滿洲建設に献げたと同じやうな熱と力を北支建設に注がねばならない。」

クライブ英大使外務省を訪問

支那問題に就き釋明

【東京國通】最近歸朝の英國大使クライブ氏は昨日午後三時外務省を訪問、廣田外相、重光次官と會見し、支那問題で約二時間會談したが、最近支那の幣制改革の裏面にリースロス氏が暗躍してゐると傳へられてゐるが、駐支大使カドガン氏より聽取した所によれば全く英國の關知せぬ所と釋明した、次で支那問題に就き重光次官より說明をなし、日本としては滿洲國に接壤する特殊地域として重大關心を有する、幣制改革實施は日本を無視したる拔打ち的改革であり、日本としては頗る遺憾とする旨日本の態度を披瀝したこれに對しクライブ大使は日本の方針を諒とし、英國は支那に於て日本を無視する單獨行爲をとる意志なき旨を確言した

第一次臨時人口調査の實施に際して〔下〕

―統計處長向井俊郎氏談―

△調査の方法　本調査を實施するに當つては我國の現狀に照し治安工作即ち原則として保甲制度の强化工作と相關聯せしめることを利益と認めた爲從つて本調査の執行に直接從事する人は主として牌長、警察官分駐所職員等でありますが、地方に依つては市公署の職員を始め學校職員中等學校以上の生徒、青年團員等の奉仕的援助を求める箇所もあるかと思ひますが之等の人々に依つて國務院から送附される常住人口呈報書用紙が各戶に配布され、各戶に於ては自己の戶の十二月末現在の常住者を一人の重複も脫漏もないよう正確に且正直に有りの儘を同用紙に記入を了して置き上記の人々が康德三年一月一日から呈報書の蒐集に各戶へ廻つて來るのを待つて提出すればよいのであります

△國民の覺悟　本調査は滿洲國としては最初の企てであり從つて國民としては本調査に對する認識の不足より之に依つて將來或は課稅や徵收負擔の目標になりはしないかとの危懼の念を抱く者がありはしないかと虞れるのでありますが本調査の主旨は前述の如く國家行政上の指針とし飽くまで國利民福の增進にこそありはすれ決して個人の利益を害したり又個人に關する事項を公表したり他に漏洩するが如きことは嚴重に禁ぜられてゐますからこの點呉々も誤解のないやうにするとともに安心して正直にありのままを記入して貰ひたいのです。一人の誤謬は國家全體の誤謬であり誤てる統計は誤てる政治の基となつて國家全體の様相を歪曲し、むしろ百害あつて一利ないのであります

而して本調査をして優秀なる成績を擧げしめるには調査に當る官公署職員や其の他係員のみが如何に眞劍な努力をしてもそれだけでは完璧を期することは至難でどうしても國民の十分なる理解と一致協力とに俟たねばなりません。其の理解と協力があつて始めてこの國家的文化事業の目的を達成し得らるるのでありますから國民は能く政府の意の存する處を了解せられ以て滿洲國最初の人口調査をして輝しい結果を齎らしめる様御配慮あらんことを切に希望する次第であります

第一次人口調査の豫想人口懸賞募集

滿洲統計協會では、本年十二月末日施行される第一次臨時人口調査の結果に依る都邑人口の人口豫想懸賞募集を行ふことになつたが、應募者は官製はがきに都邑名と豫想人口數を記入し（一枚一都邑に限り、應募は二十五都邑全部に亘るを妨げないが同一人で一都邑人口を重複應募するを得ない）新京市東七馬路滿洲統計協會宛て締切は康德三年一月一日まで送附のこと、但し同日付郵便局消印あるものは有效、當選者は國務院統計處人口調査結果速報の人口數に適中のものを一等とし若し適中者なきときは近次數より順次當選者を決定し適中者多きとき又は差數同數の者ある時は抽籤の方法に依り等位を決定す、賞金は一等三十圓（一名）二等十圓（二名）三等五圓（五名）四等三圓（十名）五等一圓（二十五名）等外一百名賞品贈呈、發表は國務院統計處に於て速報人口發表後滿洲統計協會機關誌「滿洲統計」誌上に發表する

なほ參考として昨年末行はれた第一次臨時人口調査施行の都邑人口數を示せば次の如くである

新京特別市（一七〇、九二九）哈爾濱特別市（四八二、四五二）吉林市（一四一、一七四）奉天市（四三一、一七三）齊々哈爾市（七六、一一二）黑河（一一、一九八）佳木斯（二三、五九）延吉（二四、三五七）安東（一〇一、五六二）錦縣（七三、三五五）承德（二三、六七六）懷德縣城（一四三二一）梨樹縣城（一五、一七五）梨樹縣四平街（一九、六六六）開原縣城（二一、七七二）鐵嶺縣城（四六、二八二）撫順縣城（三五、六五三）昌圖縣城（一七、七一八）城縣城（三一、七七）復縣城（五、一七四）本溪縣城（二五、二八二）鳳城縣城（一三、一六〇）營口縣城（三一、一九九）蓋平縣城（一七、六六）海城縣城（三六、六六八）遼陽縣城（三一、一九七）

全間島日系軍官會議

【延吉國通】間島地區顧問部では十八日より二日間に亘つて全間島の日系軍官三十名を召集し各地の情況を聽取すると共に打合せ會議を開催することゝなつた

宇佐美滿鐵理事北支から歸任

【奉天國通】滿鐵の對支工作に關する重要任務を帶び約一週間に亘り天津方面の視察をなした宇佐美滿鐵理事は十七日午後四時四十分列車で歸奉したが驛頭記者の質問に對し左の如く語る

今度の北支行は單なる視察だよ、殷同氏其他の人々と會つて來たが別にこれと言ふ話しもしなかつた、滿鐵の對支方針は既に新聞等で報道されて居るから今此處で申上げる必要はない、北平、天津間の通車問題は先に人が行つて大體の協議を

丁酉漫筆（卅五）

人肉を喰ふ話

支那は大國である時々襲來する大洪水大旱魃は別にしても何處かに絕えず洪水旱魃があり其が爲め飢饉を招來する、而して段々ヒドくなると「易子而食」といふ極端まで行く「易子而食」とは幾ら何んでも自分で自分の子は食へぬから お互に子供を取換つこをして食ふと云ふのである。

×

四千年來お互に子供を交換しては食ふて生きて來た支那人なのである、其民族性の深刻複雜推して知るべしで開闢以來春は花秋は紅葉と太平の長夢を追ふて來た東方君子國の直截簡明な大人連の手に會ふ筈のものではない、それだから如何かすると馬占山見たやうなものにさへ仕てやられる況んや宋哲元閻錫山などと來ると支那人中でも相當なものそう〱易々と此方の注文通りには動くまい。」

×

日本では近年輸血が盛んで重態の親に子が輸血をするなどは極めて有觸れたことに成つて了ふたが支那では輸血に似て輸血以上のものが古は勿論今日でも尙依然として行はれて居る。即ち『割肉療親』とか『割肉療夫』とかが其れで節烈至孝の行爲として世間から稱讚されるもんだから個人的の仇討が絕えぬと同樣、社會的に中世紀式の支那にはそう珍しくも無いようだ、それは股なり腕なり胸部なりの肉を白から切取り何回かに分け藥と共に煎じ出して謂はゞ人肉のスープを患者に飮ませる醫學上の理由は知らぬが大方迷信からであらうが非常に特效ありとされてゐる。」

×

水滸傳を讀むと豚饅頭ならぬ人肉饅頭を作つてる店がある初めは稍グロテスクにも思はるゝが度々出て來るので終には又かと思ふやふになる、其の人肉饅頭製造の光景が赤相當ヴイヴイドリーに描寫されてる、上には豚の片股や牛の間の脚や胴などが下つて居て下には大きな長方形の台が有つて其處で人肉を切り刻んでは饅頭を作る―此は作者の單なる想像的產物では無く、恐らく多少事實が有つたのかも知れぬ。然し人肉を食ふ壓巻的場面で最も精彩あるは黑旋風李逵が賈黑旋風に出喰はして一度は此を許すが遂に其奸計を看破してこれを殺し山中に火を焚き肉をそいでは焙りながら燒鳥宜敷くで酒を飮んでる處であらう。

×

『粟香二筆』といふ書には食人嘆の一詩がある
兵塵漲空不見天。荒郊寂歷無炊煙。饑民袖底藏白刃。日斜潛倚頹垣邊。弱女伶丁來乞食。張口無聲面漆黑。饑民突前白刃露。女言未畢身已仆。自憐此軀饑不肥。肉少未足充君饑。不死刀頭即道路。今得早向黃泉歸。君不見豺虎不忍殘其群。世間乃有人食人。嗚呼世間乃有人食人。
此れも恐らく叙實で想像の作ではあるまい。」

×

原來傳統的に菜食民族たる日本人が如何に飢餓に瀕するも人肉に想到るには飛躍的に頭腦を働かすの要あれど平素肉食に慣れ且つ肉食民族なる支那人や歐米人が愈々の場合極めて手近にある人間の肉に着目して食つちやはうかとの氣になるは甚だ自然で何でもないことらしい。歐米の小說を讀むと難船の結果ボートで十數日も水流を續ける、其內食糧も水も無くなる、そうすると決まつて籤引を始める、死籤に當つた奴を先づ食つて當面の急を凌ぐ皆一所に餓死して了ふよりもましではないかと云ふのだ。

例の黑シャツ御大ムソリーニが雄心勃々で何とかして伊太利の國威を世界的に宣揚し度くて堪らぬ、此の最初の試み一五二八年五月ノビレ將軍一行に命じて遣らした飛行船伊太利亞號の北極探檢であるが惜しい處で失敗し不首尾たらん、であつた、と云ふのは急を聞いた蘇聯の碎氷船クラシン號が大冒險を敢てして現場に近き飛行機で一人々々引揚げてはノビレ以下生存者全部を救助し、又有名な探險家アムンドセンが平素ノビレとの面白からざる感情にも拘らず北極の事に精通せるものは我以外には無い自分がノビレを救はずに誰れか救ふかと云ふ一大義勇心を發揮して飛行機で救助に向つてノビレは還つて來たがアムンドセン遂に歸らずで此れは却つて瑞典や蘇聯の國威を世界に發揚した皮肉の結果となつた。それのみか飛行機上から投じた綱に人もあらうに隊長のノビレが一番最初に飛付いて來たと云ふので全歐洲指彈の的となり流石のムソリーニも捨て置けずとありて軍事裁判の結果ノビレの勳位官職を剝奪して了つたといふ黑シャツ御大笑止千萬の大失敗談は諸君先刻御承知の通りであるが只一つ恐らく諸君の知るまいと思ふエピソードがある。

×

羅馬で右裁判の進行中余は伯林の宿舍で夕飯の後獨乙の友人と同じ燈火の下で寬いで居たのであるが熱心にベルリナー・ターゲブラットかを讀耽つてゐた件の友人はニヤ〱笑ひ乍ら新聞記事の一節を指し君は如何に思ふかと訊ぐのであつた。讀んで見ると裁判の訊問記事でそれは失踪者を出した天幕の隊員に對して相當嚴密に行はれてる然し甲隊員の答辯と乙隊員の其れとは究竟に於て一致せぬ丙隊員と異なる、要するに甲は東に行つたと云た乙は西と云ひ丙は南と云ふが如ものであつた、それで余は何氣無に少し矛盾してる樣だなと答へると友人は又淋しく笑つて無造作に君喰はれて仕舞つたんだよと言つてのけた。

×

其以來余は奴等極地の氷雪の中で食物か盡き矢張遂うく〱やつ付けて喰つたのかなどと度々考させらる眞僞の程は永遠の秘密であるが少くとも平素肉食民族として斯かる行爲に出づることが別に不自然でなく又歐洲人が斯く推察するのも極めて當然なりとする點だけは動かぬ所であらう

商況欄（十二月十六日後場）

金銀市況

●上海標金
前引　二四七、〇〇
寄付　[illegible]
步　[illegible]

●大連金鈔票
寄付　九八、五〇
引　九七、八五
高　九八、九五
安　九六、九〇
出來高　四〇万

▲十二月二十八日限　一月十三日限　寄付　步　（出來　不申）

爲替相場

●大連鈔票銀大洋
引　[illegible]
高　[illegible]
安　[illegible]
出來高　[illegible]
現場　二四、〇〇

▲上海爲替
▲日本向
第一回買賣　一〇三、五〇
第二回買賣　一〇三、五〇
▲倫敦向
第一回買賣　一志二片三一分一五
▲紐育向
第一回買賣　二九弗一六分八分九
▲上海向
▲大連爲替
▲煙台向
出來高二萬

株式相場

▲大連株式（短）

各地市況

▲横濱生糸　前場引　後場寄

●哈爾濱大豆

●同小麥

▲神戶豆粕

新京取引所市況（十二月十六日後場）

鮮魚小賣相場（十六日）百匁ニ付

品名	最高	最低
活タイ	[illegible]	八四
氷タイ	七八	六〇
チヌタイ	…	…
連子鯛	四三	二三
アマダイ	三六	一八
中小タイ	九六	四八
ブリ	三四	三二
カツオ	…	…
ヒラス	四二	四〇
サワラ	三二	三一
サバ	一四	一〇
アヂ	一三	一〇
カレイ	一三	一二
ヒラメ	三〇	一八
ボラ	一九	一二
コチ	一三	一〇
コノシロ	一八	一〇
キス	二八	一六
イワシ	一三	一〇
ムツ	…	…
アコウ	…	…
サヨリ	五五	二四
マナカツオ	八四	…
カナ頭	…	…
ホーボー	二二	一二
タコ	二〇	七
イタコ	…	…
イカ	四六	一二
水イカ	六七	…
イセエビ	[illegible]	[illegible]
車エビ	八〇	二六
アナゴ	三四	七
中エビ	…	…
貝柱	三二	…
カニ	…	…
ナマコ	七〇	一〇
アワビ	七二	三〇
カキ	三〇	二〇
ハマグリ	…	…
シジミ	一三	…
アサリ	…	…
カマボコ	七、三七	一〇
チクワ	…	…
マグロ切身	二、一〇	六〇
ニベ同	…	…
ブリ同	六〇	…
ヒラス同	…	…
サワラ	…	…

手形交換（十六日）

奉天株式（短期）

エキゾチックな呼倫貝爾と蒙古風俗（4）

ハイラル國通支局　杉山正三郎

△交通

荒漠たる草原地に點在し移動生活を爲して居る關係上一寸した買物にも四、五十里もあるのは普通で自動車等の機械を利用する事は全く知らぬから馬だけが唯一の交通機關である、だからいたいけない子供の時分から既に騎馬を教へよぼよぼの六十の年寄りでも馬上に乘れば颯爽として生れ更つた樣な姿になる荷物を遠方に運搬するには駱駝の外牛車を用ひる牛車は普通鐵材を使用せず木材だけで組立てたもので堅牢ではない

遠方に旅行する場合は時々一人に約四、五十臺の牛車を連聚して御して行く、夏期に渡河する際は威虎と稱する、獨木舟を使用する馬車を渡河せしむるには船を二、三聯繋して小舟を造り渡河する、多期結氷すれば其の必要がなくなる降雪多ければ橇を使用しオロチョンは白樺の小舟を使用する事もある

△債權

父の負債は子が還へす義務はあるが子の負債は父が其の義務を負はない但し其の子に負債のあつた時父の許可を經たる後自家に飼育しつゝある馬、牛、羊等を代償する事は出來る、面白い事は債務の大部分は決して何等の契約書又は證文證人等はなく唯單に口頭で貸借をなすだけであるが何時と雖も元金及び利息に對して債權者は虛詐の言を弄さぬ債務者も決して狡猾なる態度はとらない

一例として祖先の債務に利息を加へて多年經過し孫に傳はつたが其の孫は債務を承認淸算して返還したが斯んなことは蒙古人には決してめずらしい事でも何でもなく普通の事である…此處に至つては文明國人たるもの亦反省再考の必要がある、彼等の世界には文明國に於ける樣に何等法律の規定もなく相當の契約者或は證人がなければ債務關係を生ぜぬとか債權者が法定期間內に催促せねばその債權の效を失ふ等の如き制權に馴らされた人々には到底考へ及ばない事である、分家する場合は債權債務と同樣負擔額を分配するか或は債權者の權利義務を第三者に移行する時は親友及び相手方の債務者又は債權者等の關係者にその旨を聲明し即時に債權、債務の兩者は確定し權利義務に於ては何等の變る處がない、斯く如く蒙古人間に於ける債權習慣は殆ど古來からの信義を根本として考慮せられたもので今日に於ても此の習慣は尙消滅しない海拉爾等の市街地に居住する蒙古人は四圍の環境に依つて自然と滿人等の狡い風俗に染りつゝある樣な傾向もあるが大體に於て變つてゐない

△物權

不動產及動產の所有權は則ち家族內の長男の承認がなければ效力がない、但し長者が家庭內の一人を指定して其の所有權を代行せしめる事は出來る唯走失せる牛、馬、羊或は遺失した家具物品等は家人が何處かで發見した場合は所有權を主張して持歸へる事が出來る斯の樣な場合は必ずしも所有權ある長者に具申する必要がない、長者が死亡した場合は所有權は當然長子に移される、諸外國の如く法律規定に基いて登記を經た後でなければ所有權を取得する事が出來ぬ制度とは全く趣きが異つてくる何等制度規定がないけれども自然と斯う云ふものだと肯定ずる習慣に依つて物權を定めてある

東滿

愛護地帶を强化し　防護障壁たらしむ

南部拉濱聯合愛路區大會を開催

【吉林國通】吉鐵では秋季治安肅正工作と相呼應し拉濱線南部全愛護村長並に關係者を召集、之を指導督勵して各愛護村民の愛路運動の强徹底を計り、愛護地帶をして鞏固なる防護障壁たらしめる目的の下に來る廿日小城に於て、廿一日五常に於て夫々南部拉濱聯合愛護區大會を開催する事となつた

吉林管下に於る　十一月下旬荷動き狀況

【吉林國通】十一月下旬管下荷動き狀況左の通り

△旬間發送噸數は九七、六五五噸で之を前旬に比較すれば約七、一三六キロの減少を示してゐるが、之が主因は特殊事情により機關車が不足し旬央より工事線品の輸送を中止せる爲國總用品の激減を來せる爲で線用品及び他用線用品にありては略々前旬同樣の實績を示してゐる

△特產　例年になき暖氣と收穫期に於ける降雨に禍せられ出廻り著しく遲延してゐたが本旬以來氣溫急降下、馬車輸送を促進し本旬頗る活潑强調を示し前旬に比し約二十％の激增を示してゐる、混保大豆の如き寄託最高一日六十四車に達する等宛然輸送盛期を思はしめ普通大豆、高粱、小麥、米も一齊增加裡に推移せり

△木材は需要減退に伴ひ逐日衰勢、漸く冬季手當物の荷動を示したるに過ぎなかつたが尙よく發送量一八、七三三キロトンを見た

▲石炭は前旬來引續き優勢を示してゐるが、こゝにも機關車不足がたゝり前旬に比し九三六を減じた

其他麥粉、木炭、薪、生果、野菜は何れも前旬より若干增加、他線方面に於て滿鐵發にありては石炭、鹽、雜貨類に支へられ旬間發送量八、四一四キロトン、北線發は生果、野菜の荷動き一、五九八の增送を眺めた

琿春圖們間　自動車營業　明年一月開始

【吉林國通】琿春、圖們間七十五粁自動車運輸事業計畫が此程完成し、明春一月十五日頃より營業開始の見込みであるが、それによると乘合自動車及び貨物自動車を一日一往復又特別の場合は貨物自動車を運轉し所要時間三時間、區間中五停車で料金は一粁五錢の割合、琿春、圖們間は三圓六十五錢となつてゐる

從來圖們以東は圖們稅關にて關稅を納付する事となつてゐる

吉林第一回貨物事務講習會

【吉林國通】吉林鐵路局では去る十二月五日より約二週間の豫定を以て管下各站貨物事務員を選拔し同局會議室に於て第一回貨物事務講習會を開催してゐるが之が成績極めて良好なるものあり、此種催しは局及び現場の許す限り頻繁に施行の意向で、近く第二回講習會も開催すると

本自動車線を使用するが、時は右が不用となる爲開始の曉は需要者相當多數に上るものと見られる

滿鐵新社員　吉鐵管內に配置

【吉林國通】吉鐵管內に配置さるべき滿鐵本年度新入社員百五十名の中、第一班卅七名は十五日、第二班七十二名は十七日夫々家族同伴來吉したが、十九日の第三班四十七名の來吉を待ち兩三日中に管內各所に配置される事になつてゐる

齊北沿線の奇病　病源調査に躍起

【ハルビン國通】齊北線一帶のペスト容疑は其後蔓延の兆もないが今日迄の所死亡者約百五十名でその後の調査によれば患者四分の三は若い女でそれも月經前後に罹病すると いふ奇現象を呈してゐる、同地方には昔から「北安には若い娘をやるな」と云ひ傳へられ娘持つ親達に厄病神として恐れられてゐたものである、目下克山の防疫本部には滿鐵衞生硏究所長岡本博士、同細菌學主任大野博士、通遼ペスト調査所長春日學士、民政部衞生司畑、藤原兩學士等が出張しこの奇病の病源體發見に躍起となつてゐる

久納〇團長着任

【ハイラル國通】新任久納〇團長は十六日朝着任した、久納少將を司令部に訪へば左の如く語る

熱河作戰に偉大なる功績をあげた稻葉閣下の後任として第一線ハイラルに働くこととなつたのは不肖久納の光榮の至りで誠心誠意國防の重責を全うしたいと思ふよ、今後何分宜敷く各位の御援助を願ふ

因みに久納少將は曾つて西本部隊の參謀長として長城戰に勇名を轟かした將軍で滿洲には二度の務めである

北滿

齊市の滿人間に　武道熱昂まる

廿八日劍道リーグ戰開催

【チチハル國通】最近當地滿人中等學校を始め滿洲國側官廳間に劍道熱が高まり先月廿五日以來特務機關の金澤五段以下數氏が日語專習學校を始め各中等學校に出向き敎授してゐるが來る廿八日日語專習學校、中等學校、警察官練習所、第三憲兵隊の間に劍道リーグ戰が行はれる事となつた尙滿人間に於る劍道熱の勃興は喜ぶべき傾向として武德會支部では滿人側の道場を新設すべく種々奔走してゐる

滿人從事員全部が　トラホーム患者

哈鐵、對策に乘出す

【ハルビン國通】哈鐵衞生股では現在滿人從事員の殆ど全部がトラホーム患者であると言ふ寒心すべき狀況にあるのでこれが傳染豫防對策に乘出す事となり專門醫一名を招聘し明年一月上旬頃より各沿線を巡回せしめて全從事員のトラホーム檢診治療を强制的に行はしめる事となつた、尙治療費の一部として從事員より一錢づつを徵收する筈

第三軍管區團隊長　會議開催

【チチハル國通】第三軍管區司令部隸下團隊長會議は十八九兩日に亘り當地樞導隊で開催、張司令官、那須顧問の訓示狀況報告、指示事項の說明等の外特に此程歸任した日本見學將官の所感が披瀝される筈である

滿鐵社員會　哈市聯合會　明年一月　結成式

【ハルビン國通】滿鐵社員會ハルビン聯合會の結成は、哈鐵安達總務處長を準備委員長として準備を進め目下會員名簿を作成中であるが、哈鐵管內に四分會を組織し會員總數は約二千五百名に上る見込みである、而して明年一月九日各分會に於て評議員の選擧を行ひ一月一杯には聯合會長並に幹事長以下各役員の決定を見る

快速郵便の利用增加

一部料金の改正斷行　更に陣容を整備す

【大連支社發】關東遞信局が內地に率先して實施した『快速郵便』所謂官營下のメッセンジャーは日を逐ふて利用者は增加の一途を辿つてゐるが同時に多數の書狀や小包を差出す向から料金引下げの要望があるので遞信局は十二月十六日から快速郵便料金の一部改正を斷行することになつた即ち同一差出人から一時に六個以上差出す場合は書狀一通十三錢を八錢に小包一個十六錢を十一錢に各値下することになつた、因に大連中央局ではこれを機會に更に一層メッセンジャーの陣容を整へ利用者の期待に副ふことになつた同郵便の大連に於ける實績に依り奉天、新京等滿洲內大都市に於ける實施に對しても相當考慮せられてゐる模樣である

南滿

大連年末同情週間　淨金續々集る

＝更に市民の助成を要望＝

【大連支社發】大連方面事業助成會主催の恒例による年末同情週間はビラやポスターで呼びかけ十三日から開始したが五品代行社長首藤定氏の千圓をトップに續々申込みあり民政署を喜ばせてゐるが既に淨金二千圓を突破した模樣で締切りまでには相當の金額に達する見込みであるが、これによつて年の瀨泣いて迎へる哀れな同胞へ溫い贈物をすることになる譯で、金額の多少に拘らず此の意義深い催しの目的を達成せしむるや、市民の同情ある助成が願ひたいと細川地方課長は語つてゐた、尙右同情週間に當つて警備の第一線に活躍されつゝある大連警察署では零細なるボーナスを割いて二百圓を市社會課を通じて贈つた事は市民に尠からぬ衝動を與へた

家庭

戀しくなる―おでんの味
寒さと共に……で、その由來は？

お寒さがつのると共に、溫かいおでんの味が戀しくなります。おでんと云ふの起りは「でんがく」で串にさした形が田樂法師の舞ひ姿に似てゐるからだと云はれます「でんがく」を江戸時代の奥女中のことばで「おでん」と云つたのが、通り名になつて今日に至りました

▽　▽　▽

その昔は「おでんは夜啼きうどん等と一緒に屋臺を擔いで賣り歩いたもので「おでん燗酒」といふ行燈をめあてに夜途を歩く人達が寒さしのぎに一杯やりながら一串頰つたものでした、川柳點にも

◇どぶ犬とおでんは夜共がせぎ

などとあるやうに、頗る安値な食べものだつたのですそれが昨今では出世して「お座敷おでん」などと豪勢な專門の料理屋さへある位です

▽　▽　▽

おでんの古いつくり方はゆでてたれ味噌をつけたもので、歌舞伎第八番の「助六」の惡態の合詞にも「このたれ味噌野郎め」などとありますこれと區別する爲に、特に「煮込みおでん」と云つたのが、今では「おでん」と云へば煮込みにきまつたものになりました。

おでんの味は、何と云つても昆布のだしが一番で、それに鷄の骨の煮汁を加へたり、野菜の內で汁をも入れるなど手をとめれば益々おいしくなります、なるべく砂糖の甘味をさけて色々なものからにじみ出る味のカクテイルがおでんのうまい汁味となるわけです。

▽　▽　▽

それだけの手を加へれば、家庭でもおいしいおでんを造ることが出來るので、餘り手ぎはやコツの要らないお料理ですから是非主婦方はやつてごらんになることです

年賀狀を認めるには　こんな注意が必要です
事務的に手數のかゝらぬ樣
局としての希望（上）

この一文は十八日午前十時より石河新京中央郵便局長が「年賀郵便に就いて」と題して新京放送局より放送された原稿であります。

◇…………◇

本年もいよ〳〵、餘すところ旬日となりまして、皆樣も、何彼と、お心忙しいことゝお察し致します。何しろ、過去一年間の公事俗事、其他、種々雜多の出來事の總決算期でもあり、又來るべき新しき年に對する、夫々の用意なり、仕度なり、已かじ、樣々な所謂歲末行事が重り合ひまして各の家庭に、又巷に歲末情調―年の瀨氣分が橫溢するわけで御座ゐます。

此歲末行事の一つと致しまして、年賀郵便が御座います、お互が、平常の心にもない、御無沙汰のお詫びやら、或は無事息災の知らせやら、更に又、輝しき初春の壽を祝福し友人知己の多倖多福を、祈念する等の意味に於きまして、お互に、遣取りをする年賀狀の仕度か、御座います。殊に、遠く母國を離れまして此滿洲の地に活動なされる皆樣に於かれましては、此年賀狀の交換と申すことは、一層多くの意味を盛られたる、極めて有意義の、行事の一つであると、私は考へるのであります。

回禮の廢止とか

年末年始の宴會の廢止とか、叫ばれる現在に於きまして、斷然この賀狀の交換贈答のみが、增加の傾向にあるのは、誠に、故ある哉と思料されるわけであります。而して御當地に於きましては友邦滿洲國の、隆々たる發展に伴ひ、邦人官公吏、一般市民の增加は逐年夥しき數に昇りまして、從つて、此年賀郵便の取扱物數も驚異的躍進振りを示してゐるわけで御座います。

參考のため、昨年當局で取扱ひました、物數を申上げますと、これは暮れの二十日から一月十日迄の分でありますが一般の通常郵便の引受が百四十八萬八千通、年賀扱の引受が、百七十三萬通、配達の方は一般、年賀共合せまして四百八萬通で御座います。

奥地の軍人軍屬

夫れから繼越―これは四平街以北の分で、主として其他の方々の間に、發着する分でありますが、これが四百七十四萬九千通、合計一千萬に近い夥しき數に、昇つてゐるので御座います。

夫れで本年は過去一年間の、當地の發展振りを考慮致しまして、夫々以上の物數中、先づ引受四割、配達三割增加と云ふところに見當をつけまして、各方面の計畫を樹てたわけて御座いますが、此の洪水の如く、怒濤の如く、押寄する郵便物を遺憾なく處理する爲に、全局員が此の二十日から、來年の一月十日頃まで、不眠不休、血みどろの活動を續けるので有りますが、然し迚も夫れだけの人數では、捌き切れたものではありませぬ夫れで臨時に、應援と致しまして事務員延九百二十二名、通信夫、同じく二百四十一名を使ひまして、此難關を突破する。計畫で御座います。斯く、多數の年賀狀を、皆樣の御期待に副ふ樣、又

正確に、迅速に

處理致しますことは、無論私共局員の職責であり、使命であるのは申す迄もないことで有りまするが、一面又、私共の此使命を、差障りのない樣に、圓滑に遂行致しますには是非共、皆樣方の御助力、御協力をお願ひしなければ、ならないので御座います。然し御助力御協力と申しましても皆樣方に郵便局に來て頂いてお手傳をして貰ふ―と云ふのではなく、一言にして申しますれば、局內に於ける取扱を出來るだけやり安くする―事務的に、餘計な手數をかけない樣にして頂く―只これだけの問題であり、これだけのお願に、外ならないのであります。これさへ甘く行けば、郵便局も助かり、郵便局が助かると云ふことは、取りも直さず、皆樣のお出しになる年賀狀が間違なく、澁滯なく、處理されると云ふことになるわけで御座います。それで、私から皆樣に

お願する點は、

如何なことであるか、更に又この年末中の、私共の業務上に就きまして、特に皆樣方に、御注意申上げて置きたいと云ふ事柄を、これから搔摘んでお話申上げたいと存じます。

◇……◇

第一は

年賀時別取扱をする、郵便物の範圍でありますが、これは書狀即ち封をした手紙又は無封即ち封をしない印刷した書狀、官製又は私製の葉書、此私製葉書の表面の色は白色、又は極く淡い色のものに限られてゐますから、お注意を願ひます、中には眞赤な私製葉書を、お使ひになる方がありますが、斯樣なのは取扱致しませぬ、次は名刺封入の第四種郵便、此名刺には四字以內の慣用語―例へば「謹賀新年」の如き、言葉を記入しても差支ないことに成つてゐます。以上三種類でありますが、料金の未納不足のものは取扱ひませんから、切手の貼り洩れや貼りそこないのない樣に、御注意を願ひます。

英國赤十字看護婦の防空演習

寫眞は英國赤十字社看護婦防空演習にて各自防毒マスクを掛けて避難演習を行つてゐる處

家庭　婦人と讀書
結婚してからも讀書を止めるな

一體日本の婦人は、結婚前は相當の讀書家であり知識慾の旺盛であつた人でも、結婚するとぴたりと

讀書

をやめてしまひます。こんな風では、日進月步の世の中で、どうして我が子の教育に當たられませう、綺麗な着物を子供に着せたいといふのは人情ではありませうが、併し如何なる書物を子供に讀ませたらよいか、子供の教育のためにどんな本を讀せなければならぬかといふことを考へることは着物を一枚縫ふか縫はんかといふ問題と、時を同じうして論ずることではなからうと思ひます。これはイギリス婦人の例ですが或時下着についてさい方を追歸し大變氣の毒なことを致しましたが、讀書中に

時間

るイギリス婦人を訪問いたしました。來意をつげると女中さんは名刺を取つがうともせず「今私の奥樣は本を讀んでゐますから御會ひになりません」と私を追歸しました。私は簡單に門前拂ひをくつたわけですが、この時程有難く思ひ感激したことはありませんでした女中さんから後四十分程で奥樣の讀書の時間は終るときききその間散步して再びそこへ參りました、その奥樣のおつしやるには、マアさつきは氣の毒なことを致しました私には御存知のやうに、五人の子供がある、三人の大きな子供は英本國で勉强してゐる、二人はここにつれて來てゐます、この進步してゆく世の中では私は日に三時間半本を讀まなければ、子供の

教育

は出來ないのです。それで、今日のやうに貴女みたいなお忙しい女中からやれ誰さんがいらした何はどういたしませうなどときかれると頭が混亂する。ので讀書中には一切取次ぎをしないやういつてあるのですといふことでした。私はその日うかがひたいと思ひましたことがらよりこのお話を有難くうかがひ、本は讀まねばならぬとつくづく感じ、以後勉强致して居ります

お料理獻立
數の子の粕漬と味噌漬

そろ〳〵お正月料理の用意をする頃でございますし、これからは贈答品の奈良漬の粕がどこのお宅にもありますからそれらと季節の數の子を合せてお料理を致しませう

【材料】新數の子―百匁、奈良漬の粕―二百匁

數の子は鹽ぬきをし、薄皮をとり器に粕を敷きガーゼ等を置き、數の子を並べ布をかぶせ粕を敷くといふ順を重ねて漬け兩三日すると食べられます味噌漬も同樣

ラヂオ　けふの番組
（MTCY　新京放送局）十九日（木曜）

⦿朝⦿

六、三〇 建國體操（滿語）
六、五一 ラヂオ體操（東京）
七、一〇 入港船の御知らせ（大連）
七、一五 中等滿語講座（大連） 講師 秋父固太郎
氣象通報
七、四〇 中等日語講座（奉天） 講師 近藤喜助
八、一〇 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、〇〇 早晨演奏
九、二〇 料理獻立（大連）
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 家庭講座 休暇中の子供の扱ひ方 赤塚久子
一〇、二五 家庭メモ
一〇、三五 經濟市況（大連）（東京、引續き新京）

⦿晝⦿

〇、〇一 經濟市況（大連 引續き新京）
〇、二〇 晝の演藝（レコード） 萬才「小さな大東京」（リーガル）千太 萬吉 「捨丸小原良節」（リーガル）砂川捨丸 中村春代
〇、四〇 建國體操（滿語）
一、〇〇 白天演藝 空城計 老生 金花 馬前潑水 胡琴 何景武
一、二〇 ニュース（滿語）
二、〇〇 經濟市況（大連） 引續き 日用品値段（滿語）
二、二〇 成人講座（滿語）（哈爾濱より） 社會實業 哈爾濱市公署 馮詠秋
二、四〇 下午演奏
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
三、三〇 經濟市況（大連） 引續き新京
三、五〇 ニュース
四、三〇 ニュース（鮮語）
四、五〇 引續き 演藝（鮮語）
五、〇〇 ニュース（英語） 子供の時間

新京室町高等小學校兒童
一、齊唱（イ）牧場の朝（ロ）水車 ピアノ伴奏 筒井哲 矢島光彥
二、齊唱（イ）スキー 四年女子 二十名 （ロ）ほたる 五年女子 二十名
三、獨唱（イ）鈴虫 六年女子 （ロ）蜜柑船 白戶チヨ
四、合唱 木枯 高一女 二十名
五、合唱（イ）暖爐の前（ロ）三日月 家政科 三十名
五、二〇 コドモの新聞（東京） 闞屋五十二
五、二五 氣象通報 番組豫告

⦿夜⦿

六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 今晩の番組 官廳公示
六、二五 政府公報（滿語）
六、三〇 國民の時間（滿語） 官吏與協會之運動（奉天） 奉天市長 王慶璋
七、〇〇 擬音風景（東京） いろは歌留多擬音化 岡本一平作
七、三〇 寄席中繼 ―東京新宿末廣亭より―
八、三〇 時報、ニュース 引續きニュース（東京）
八、四五 ニュース、經濟市況

九、〇〇 氣象通報、番組豫告（滿語） 舊劇 烏龍院 紅餘俱樂部票友
一〇、〇〇 北滿の時間（哈爾濱）（露語） 一、講演（突擊隊的進度） タラダーンフ 二、詩朗讀 三、ニュース

お馴染み高座から　寄席中繼　落語と音曲
後七・三〇 東京新宿末廣亭から

一、落語　宗論　朝寢坊むらく

昔堅氣の大旦那は、大の阿彌陀如來樣の信者で、一にも阿彌陀樣二にも如來樣と、お寺參りの外には何にも樂しみがないと云ふ信仰ぶりその息子は親に似ぬ子は何んとやらで、これはまたキリスト教の大信仰者、若旦那と大旦那はいつも意見が合はず今日も大旦那は若旦那に阿彌陀樣を信仰しなければ勘當すると云ふ若旦那は負けて居ずつかみ合ひとなる所へ下男の權助がまあまあと二人の間に入り「宗論はどつちが負けても聞きませんから、大旦那も若旦那も量見して下せえ」と云はれ、大旦那面目なく「南無阿彌陀佛〳〵これは恐れ入つた權助、それ丈けの悟りを開ひた所を見るとお前さんも眞宗かね」「なあに俺は仙臺だから奥州でがす

二、音曲　吹き寄せ　柳家つばめ

（イ）都々逸

「やぶの中にも日蓮さんが御座る詞「冗談言いなさんな藪の中に日蓮さんが有るものかい「ソレだつてホ、ホ法華經の聲がする。

「今戶あたりに小粹な住居靑竹茶せんでお茶立てさせてオヤどうしたヱ「色も香も有る」すいた同士の四疊半。

「私しの心に變りはないが「若しや見捨てはなされぬかとけんにあらゆる神樣や佛樣まで無理言ふて」年の明くまで辛棒す。

（ロ）大津繪

「ふとした事から故鄕を離れ脚絆手甲掛笠の笠、笠にパラリと掛りしば雨かと思へば、松の露またもや袖にと掛りしは露かと思へば吾が淚、

（ハ）二上り新內

此所は上州に名も高き赤城おろしのはだ寒く利根の流れの水枯れて　詞「加賀の國の住人小松五郎吉兼が萬年溜めの雪水に鍛へし業物已には生涯手前と言ふ强い味方があつたのだオ、雁が鳴いて行く月も南の空へ飛んで居る西山にかたむいたようだ」兒狀持つ身はみなこうか、情けなや國定立退き宿々を渡る世間に鬼はないぞえまたもや見返す事もある。

二上り新內小野の色香に少將は、雨の夜風の夜いとはずに九十九夜までかよい詰め「雪に思ひを深草の百夜も通ふ戀の闇」雪に凍へて死するとは少將ふかくぢやないかいな

（ニ）阿呆陀羅經

佛說阿呆陀羅經唱へ上げますお經の文句、是が何んだと尋ねて見たら、海を離れて東阿の空に暗雲低迷雨かあられか、白雪の、解けぬもつれも熱帶國にエチオピヤ、イタリーの國際問題ワルワル事件が騷動の因だよエチオピヤとはどんな國かと調べて見たら未開國だが三千年の古い歷史は黑く輝く物資に惠まれ結構な國だよ此んなお國をそばで見て居る伊太利國が是迄度々お手々を出したが三度の失敗待てば海路で化學の進步でタンク飛行機ドンドン出來る、そこでムッソリ軍隊軍器ドンドン輸送黑人帝國驚ろき呆れて國際聯盟に提訴に及ぶジュネーブ村では調停に乘り出す而しイタリーの强硬な意見に制裁案發動と事が極まつて戰爭眞最中だ一六勝負はどちらが負けよと阿呆陀羅坊主はおかまい無しだ而し國家の犧牲となつて戰死の勇士に引導渡すは坊主の役だよ、まだまだお經は澤山あるが、阿呆陀羅經はこゝらで一ぷく。

寫眞　上から桂文樂、柳屋つばめ、朝寢坊むらく、柳亭左樂さん

三、落語　宮戶川　柳亭左樂

夜遊びから締出しを食つた半七は、仕方がないので伯父の家へ行こうとすると、同じ締め出しを食つた向ひのお花が連れて行つて吳れと賴む、半七斷つたが、お花が無暗について來た、伯父の家を起すと、伯父は、半七が女と一緒に居るので碎な事と早合點をしてろくろく半七の云ふ事も聞かず、二人を家へ入れて仕舞つた、この伯父が取持ちで目出度く夫婦になると云ふ話

四、落語　鰻屋の幇間　桂文樂

幇間にも色々あり、中にも怪し氣な野幇間といふのがある、これは誰でも構はず取卷いて、天ぷらの一杯も有付こうといふので、ある野幇間が何かいゝ旦那はないものかと街を步いて居るうち、職人風の男と會ひ、これを取り卷き首尾よく附近の鰻屋へ連れ込み、したゝか御馳走になつていゝ氣持になつた、所がお客が便所へ行つた儘なかなか座敷へ戾つて來ないので便所へ迎ひに行くと居ない、オヤオヤ御馳走になつて禮も云はぬうちお歸りとは氣の毒だ位に考へ、女中を呼び「お勘定は濟んでるだらう」と云ふと「イエ、あの貴方から頂くやうにとお土產を三人前お持ちになつてお歸りになりました」と聞かされ、野幇間さん大きに驚いたが追付かない、澁々勘定をして歸らうとすると、下駄が違ふので「オイ下足番」と怒鳴ると「アノ綺麗な方は、お連れの方がはいてお歸りになりました」

けふの子供の時間
室町兒童が唄ふ
【後五時】▽……齊唱と獨唱と合唱

一、齊唱（四年女）

イ、牧場の朝（文部省唱歌）

ただ一面に立ちこめた牧場の朝の霧の海、ポプラ並木のうつすりと黑い底から勇ましく、鐘がなる〳〵かんかんと

ロ、水車（文部省唱歌）

桃の花散る小川の水に一つかかつた水車、のどかに照す春の日浴びて、こつとん〳〵車は廻る、こつとんこつとん車は廻る、

二、齊唱（五年女）

イ、スキー（新尋常小學唱歌）

ツララツツウ樂しいスキー、雪に二すぢ跡踏みつけて、長いスロープ高い丘、すべりや心がはればれかかる

ロ、ほたる　三木露風歌　宮原禎次曲

螢、螢ほたるがとんだ、草の中からほたるがとんだ、小川の岸の草むらに、ピカ〳〵光つて居りまする、螢よ螢よつてこい、こちらの方へよつてこい團扇でとりましよ追ひかけよ、略い小川の椿のそば

三、獨唱

イ、鈴虫　白戶ちよ（六年女）　白鳥省吾歌　室崎琴月曲

鈴ふる鈴虫りん〳〵と、ひろい野原の萩桔梗、人に見えない草かげの小路を鈴虫何處へ行く

ロ、蜜柑船（新尋常小學唱歌）

船は帆まかせ、帆はかぜまかせ、積んだ蜜柑は浪まかせ、なつかしきふるさとの船唄に送られて、船出するみかん船櫓拍子も勇ましや

四、合唱（高一女）

伴奏　矢島光彥　木枕　靑木歌子歌　本居長世曲

鎭守の森ゆ夜をこめてひびく祭の笛太鼓、木の葉ふきまく風へのりチンテンツクテンツクツ、ヒヤラクヒヤラク、ドンドン、ヒューラヒューラ、近まさり來る其のしらべ

五、合唱（家政生徒）

イ、三日月　靑木歌子歌　本居長世曲

預晝顏の花やせて、松蔭くらき木下道、袖に影おくそがれの、色もわびしき三日月や、はや手にさはる草の露」

ロ、暖爐の前　靑木歌子歌　井上武士曲

北風の吹きくるひ、亂れうつ吹雪の音に、歌語り暫し途絕えて、サンゼリヤ晝なす下に、ただ赤し暖爐火影

文藝

鬼に追はれて（上）

飯島英一

「ともかくもあなたまかせの年のくれ」

凡そ人生といふものも「あなたまかせの」ものぢやないのかしら、殊更に年末を指してのみいふたのではあるまいと思ふ、一茶のこころも。

私はひどい我ままで、是が非でも自分の意を通し、且つ自分の心するところ正大なりと信じて來た。けれども家をもち、妻をもち、子をもつてともかくもあなたまかせで生きねばならぬ苦勞を知つた。

美に憧れ、眞を慕ひ、理想を目ざして男々しくも「一生をもつて人間の價値を知れ」と武者振りついた牛生もどうやらあやしいこの頃となつた人から嘘でもいはれるものならむきになつて怒つたのも、いつしか平氣で聞き流し時には人を欺す術すら心得るに至つた。

人を呼んで應へなくば
己れを呼んで自から應ず
さみしさ、これにまさるなし。

この道や行く人なしに秋のくれ

わびしい生活に徹するもまた、大いなる苦行である

これは私の二十五の結婚の前年うたつたもので、その頃の私としては「寂人苦行」の小乘的な安住を求めて、眞面目な求道者として細くともうるさくない灰色の道を辿つて來た。

三角の家を建て、オートバイでも買つて乘り廻らうなど、そんな美しい少年的空想の消えて、やゝ世間のにがみを味ひ初めた頃、蝸の生活が一番自分に適してゐるやう思へて非社會的に生きやうとした。世の中といふものがややこしく、又人情もたよりなく佗びしければ狼犬も友となり雀も雲柱から下りて來る氣がした。

◇—◇

前日奥氏が飯島英一華やかなりし時代といふた、即ち遼東（今はない）滿日兩紙が競つて滿洲文壇に花を咲かせ無名人を探し、求めてゐたころの話し、私なども盛んに駄作をひねつて活字にし、獨り悦には入つてゐた大正の終りから昭和にかけて。大衆文學とやらの生まれる前、ジャズの言葉もまだ街にはなかつた。

カフエーなどで蒼白い氣焔を吐く文學青年など一人もゐなかつた、もつともつとしつくりとした、思想的とでもいふのか、哲學的とでもいふのかそんな重苦しい空氣があらゆる書物にもられてゐた。芥川氏の死など思想的苦惱時に油を注いだものだつた。人間苦とか、世間苦とか、そんな言葉の盛んに使はれた頃し。

內地から小包のやうに女房が貰はれて來て、兎も角家庭といふものをもち、公費を納め、地方委員の選擧權などいただいて、何や彼と遂ひに世間づき合ひを餘儀なくされた

小說など書いて賣らうなどの量見もなければ、やたら本を見て思索したところで、結局思想はどんどん廻りして又もとのところへ歸り、コールタルの池にセメン樽を沈めたやうな頭でいつまでゐたとて詮なく、いつそのことペンもとらず、讀書からも一切手をひく事にした。月二冊ときめて買つて來た書籍もみんなまとめて村の圖書館に寄附し、田舍の先生たちによろこんで貰ふたのが最後の自慢だつた。

「平凡に徹するも、また悟りなるかな」己惚れも相當なものだつた。

子供の出來たのも、割合に早く、お父ちあんなどと一人前に呼ばれ、そろそろ獨りよがりの蝸牛でもをられなくなつて髮も伸ばしてみる氣になり煙草もふかし酒も試みた。天晴れ一人前の修業も短日月で第一線を總つた。その頃の思ひ出に長春新劇協會を作つて二三度公演したのもなつかしい一つ、今でも一二のものは殘つてゐるが大ていは散つた。女郎のいやがるのを無理にたのんで女中に仕立てたりお腹の太い同人の細君を小役に使つたりなどしてふき出すやうなこともあつた。入場料を貰つたのだが割合に大入りだつた。私どもの新劇がきつかけになつて大連にも出來たが間もなく消えたらしい。素人同志の劇はどうしても無理があるからさう續くものでない、第一に女優がないのが頭痛だつた。

◇—◇

その夏ビールの味も初めて知つた。何も勉强だ、世の中に無駄がある筈がない。人生にも角度がある—こんな屁理屈をつけてゐるうちは無事だつたが、第二第三課と進むにつれ、やれ委員の評議員の幹事のと、夜店の村長まで引き受けるに至つては再認識をせねばならなくなつた。

あれほど非世間的に下向きに步いた男が、と思ふと自分ながら將來は約束出來ぬものと覺悟した。由來私は人のおだてに乘るたちには違ひないけれども人をおだてゝをいて後にひつ込んで嗤つてゐる人間よりは少なくとも高等だと信じてゐる。

もともと私は兩極端に走るたちで西も、東もポイント一つで、盲目滅法馬鹿走りするブレーキのきかない機關車みたいなものである、危險な男かも知れない。で、非世間的であるなら徹底的個人主義を尊重し、なま半か世に顏を出して人の顎の先で左右されたくない自尊心といふのか自惚の强い男で、そこに二重人格的な謂はゞなまな苦しみがある。これが私の痛である。が、どちらかといへば、小穴蟹平といふペンネームのやうに小さな穴を掘つて自分の身體だけ埋め、天氣のいゝ日に泡を嚙み嚙み砂原を歩くのがすきらしいし、過ちも起さない

思ふまゝに

岡村須磨子

何事にも氣早い江戸兒は十二月の聲を耳にすると我先と松飾りを立てる、（勿論これは商店、花街のことであるが）そして店先も種々な趣向をこらして歳末景氣を色づけて、一勢に活氣を呈しだし、銀座新宿邊りは歩くのも困難な程の人出になる、この有樣の中に立たされると如何に呑氣者でも自然心ぜはしさをあほりたてられて、逝く年の感を我知らず覺えさせられるのである。

今年は新京に來て私には初めての年ではあるが、毎日寒さに閉ちこめられて街の樣子もわからず、氷結した窓ガラスは空へも地へも視界をさへぎられ勝ちの昨今、どうもまだ私には年の瀬といふ感じがピンと來ないのである。

それでも柱曆の紙數が殘り少くなり、やれお餅だ、重詰だ松飾だと注文取りが訪づれて來だすとやつぱり年末だなあといふ意識が體中に溺いて來た。年が逝くといふ感じはあんまり良いものではない、貧乏ながらも首の廻らぬ年の暮を迎へた事は幸か不幸かまだないが、今年はよい一年であつたとふりかへつて喜びに浸つた年も無かつた、新年には人並に「今年こそは」と小學生ぢみた希望や覺悟をしてみるがいつもいつも最後には悔いばかり殘る今年も亦例年どほり悔いにのみ終つてゐる。

はるばる希望を抱いて（これは文藝的に）渡滿しては來たが面目無いが何んにも書けなかつた、「澤山新しい材料で書きますよ」と原稿の約束はして來たものゝ、是非と賴まれたものもメ切をすつぽかしてしまつたし、自分の創めた雜誌へすらろくに書けなかつた、二、三日前も「あなたの原稿いくら待つても來ない、着き次第印刷に廻す樣になつてゐる、至急々々」と督促されて來るといさゝか自責の念にかりたてられて來るといさゝ自責の念にかりたてられてどうでもかうでもと徹夜してやつと幾枚かにこぎつけるのだが、どうも編輯者にすまない氣持がして、財布の輕くなるのを惜しみながらも空を飛ばさせるといふ馬鹿なまねもしたのである、こんな工合だからろくなものの出來てゐる筈はない。

×

詩作を始めて十年余になるが今年程に不作の年はなかつた大きく詩壇的にも不作だつたのだが、本紙でかつて詩壇（へ中央の）に對しての不滿をのべられた方があつたが、今年の日本詩壇もあの方の云はれてゐる如くに、舊習を踏破することも出來得ずに終つてしまつた樣であゑ、群雄割據ならざる詩派に分離し、集團が個々にその自己主派を固守自讃して一向に詩の花は華々しく咲かなかつた、新しく芽生えんとする新人にとつては、實に詩は不幸な地である。

だがその不滿のやり場を詩壇そのものに持つてゆくべきか否かは一考の余地あるものと思ふ、現詩壇は一般文藝の見地からは死壇である、その死壇を招いた因は奈邊にあるか詩人の才無きを責めるべきかそれもよかろう、だが大衆的に詩は實に親しみ無いものとなつてゐる、これはたしかに詩人の詩作法に罪ありであるが、今日大衆に向つて現日本詩を支配する人は誰かと問ふても殘念ながら正しい返事をする人はなからう、西條八十氏の如き歌謠詩人は別として如何に良品であつても宣傳をして使用範圍を擴大しなければ好結果の得られない世である、たいした品でなくとも宣傳の如何によつては相當の利を占める例もある、內地の優力新聞で詩の爲に紙面を提供してくれる社があるか、無いと斷言してもよからう、又熟らないのだからどんなにすぐれた詩人が居るとも詩は現在の有樣では盛んになつて大衆の心に喰ひ入る事はむつかしい、大いにヂアーナリズムに罪ありとも云ひたいのである

×

ところが私は新京に來て當新京日々が貴重な紙面を詩の爲に割いてその上心からなる批評ものべられてゐるのを見て實に嬉しくもあり有難くもなつて、滿洲文藝は詩からといふ考へまで湧いて來てゐる、いやしくも滿洲國に來た以上日本人であるとも中央詩壇に支配される必要はない、滿洲に根ざした日本人意識を强く表現した詩の道に精進し、滿洲詩壇を隆盛ならしめたいものと愚考する、幸にして（まだ殘念ながら拜見してないが）新京詩人グループによる「裸木」も生誕された樣であるから昭和十一年の御活躍を期待させて頂く、大內隆雄氏の云はれる樣に私は新來者の殼からまだぬけきらぬ人間である、みな樣の御鞭撻御指導を仰いで來年は仕事らしい仕事をしたいとまづ念じて昭和十年を送る。

出がらしたお茶にはもうお湯をさしたとて無意味だ、新しいお茶を入れて樂しいテーブルに腰掛けたい　（一〇・一二・一四）

切り取られた鼻の哲學

山下明

ゴーゴリの鼻はパン屑の中から出て來た。鼻は水曜日の午後、台所に於いて不注意なる剃刀に依つて削ぎ取られたのである。顏の眞ん中に鼻が無ければ顏にならぬと考へてゐる、彼は自分に反逆した鼻の行衛を氣に病み、警察が幾ら取るに足らぬ事件を愛してゐるにしても、鼻の取押へ方は受付けはしまいと惱むのである。で結局彼自身その搜索を始め遂に前記の場所に於いて發見したのであるが、彼は鼻を削ぎ取られた上にポケットから微臭い數コペックを治療費として支拂はなければならなかつたのである。然しその鼻は決してシラノ・ド・ベルヂュラックの如き稀觀に屬するものではなかつたのであるが、ベルヂュラックは鼻故に失戀はしたが、彼はその鼻故に天才となつたのであらうと考へられる。

ところがもう一つこゝに切り取られた鼻物語がある、コペルニカスの後に出でケプラーの法則の泉だと云はれ、ベツセルをして「天文學者の王」と稱嘆せしめた程のティコ・ブラーフに關するもの、ティコはふとした面子の問題から決鬪をして鼻の尖端を切り落された。ポロリと脆くも砂上に落ちて、餡の中に一つ殘つた團子のやうな鼻を、自分以外の外界の對象でゝもあるかの如く見下しつゝ、彼は考へたのである、これは儂の誕生日に輝やいとつた星が、既に豫言しとつた事なのぢや。これをこの先如何にくつつけやうとしたところが始まることぢやなからう。そこでティコは氣の毒さうな顏をしてゐる審判官に向つてその無識をさとすが如くに語り初めたのである。——抑々我々人の運命といふものはな、出生の瞬間に於ける星の位置に依つて決定するのぢや。昔、大哲アリストテレスも云ふておられる太陽太陰の會合時に生れ出たる者は生來虛弱なる質であるとな、そこでぢや、我々を初め犬猫の畜生まで、いやいや山川草木乃至は蟹蝸牛の類までもなすべてこれその消長盛衰、太陰の盈虛に左右されておりまするぞ。我々の腦の味噌にしてからが然りぢやりましての人の身體を蝕せ廻る血液をも支配致されるのぢや。先づ赤兒の身體が月の光の洗禮を受けなんだ場合には出生したばかりのその兒の血液は立ち處に干上つてしまふのでありまするぞ！、それにまた野分の雷鳴風雨と云ふものは即ち金星と火星との會合に由來しますのぢや、まあこんな風に森羅萬象一切星の支配の域から出るちゆうことは難かしい事なのですぢや。この儂はもう長らくフエーン島のウラーニンで夜な夜な星と語ること久しいものぢやが、唯あの口賢しい神學者を始め哲學者と云つた連中こそ度し難き匹夫の類で、彼等の不遜な言行も彼等が占星術に全然無智で健全な判斷力の持ち合はせがないからこそ寛恕されることではあるでがすな。仕樣のない罰當りなのですわい。こんなのは鼻物語の中でも異例に屬するものであらう。ティコが地球中心說を固執してコペルニカスを否定したとしてもそれもいゝではないか。然しゴーゴリは晩年に狂死し、ベルヂュラックは刺客の不意討に逢はねばならなかつた、元來ハンチングの好きな人間は常に表出性の跡ばかり追ふてゐる。議論からは問題の解決は生れては來ないだらうし、批判は常にそれ自體反批判であらう。例のクレオパトラの鼻評で有名なブレイズ・パスカルは「我等の知り得る一切は唯我等がやがて死ぬといふ一事である」と云つておる。我々の思索は「何でも天璋院樣の御祐筆の妹の御嫁に行つた、先の御つかさんの甥の娘」的追求の域を出ないであらうとは言へそれもまた反面シニークを以て自ら任じた、「猫」所謂「再び獨斷主義者」となつたピルロニスト、アルセシラス」ではなからうか一本の煙草に火をつけ深々と吸ふのである。

匪賊團に通じて武器、食糧を供給
不屆き至極の長春縣豪農
附屬地憲兵分隊逮捕

長春縣小合隆對隆山居住豪農康萬忠（四五）は昭和六年から今日にいたる間長春縣近郊各縣に蟠踞してゐる匪首飢狼飛立、長山好、九江外數人に小銃彈丸四千發、拳銃彈丸二百發を供給し、その他三十回に亘つて匪賊の根據地へ食糧を運搬してゐたが、最近彈丸が缺乏したので、十六日新京で購入すべく來京し、鐵道北三不管廣和棧に投宿中を附屬地憲兵分隊員が探知し、十七日午後六時ごろ同旅棧を襲ひ逮捕した

皇帝陛下 傷病將兵に義眼義肢を御下賜

滿洲國皇帝陛下に於かせられては從來建國以來新帝國の礎石として活動し戰傷を受けた者又は公務に依る傷病將兵に對し數度に亘つて義眼、義肢の御下賜があり、將兵一同は聖旨の渥きに感激して居る折柄、本年度も亦戰傷及び公務傷病將兵中義眼、義肢を必要とする者廿七名に對し義眼、義肢御下賜の御沙汰があつた、それで軍政本部では御下賜品の萬全を期するため全患者を奉天陸軍病院に集め、又本年度は特に義眼、義肢の謹製方を日本陸軍衞生材料廠に依託し目下謹製中である

金侍從武官 チチハル部隊を慰問

【チ、ハル國通】滿洲國皇帝陛下の御意志を體して十七日夕刻來齊した金侍從武官は十八日本部隊司令部、衞戍病院を訪問兒玉本部隊長始め本部隊將士並に傷兵の勇士に對し慰問の御沙汰を傳達するところあつたが十九日午前六時四十分離齊泰安鎭に向ふ豫定である

南將軍實弟 洋畫家日野氏來滿

【大連國通】今をときめく關東軍司令官南次郎大將の實弟洋畫家日野鶴三郎氏（五五）は十八日午前入港の吉林丸で來連したが船中語る

自分は名譽、地位等を考へず一個の藝術家として生きて行きたいと思つてゐる、その點兄の次郎とは大分行き方が違つてゐるので今回の渡滿に際しても兄の手前もあるので成るべく人目に立たないやうにしてやつて來た、渡滿の目的は之と言つてないが松岡總裁から母堂の肖像畫を依頼されて居たのが此の程出來上つたので總裁の御宅に御屆け旁々やつて來た譯で滿洲に於る旅程等は別に考へてゐない氣分の向くまゝ北滿各地に行つて畫材を蒐めて來たいと思つて居る

同情週間義金は今十九日締切
新京騎手會員の美擧

歲末同情週間義金募集もいよいよ十九日を以て締切られるが、十八日中に本社へ寄託の分は東二條通りの永田富太郎氏の金一圓、梅ヶ枝町四ノ二日華生保滿洲出張所の金五十錢永樂町靜元莊吉永キヨさんの金二圓外に新京賽馬倶樂部の騎手の團體新京騎手會を代表して會長淸水英男氏が來社金五十圓を寄託した、騎手の如き半歲を冬籠りに暮す人々の醵金はちよつと出來ないことで、係員を感激させた、十八日の受入合計五十二圓五十錢、累計三百九十圓五十錢となつた

荒馬を取押へ 謝禮を寄附

十八日午前六時ごろ荒れ狂つた二頭立の荷馬車の馬が鐵道北から和泉町を經て驛前を通り日出町へ荷馬車を曳きずつたまゝ狂奔して來たのを、通り掛りの白山寮三百十六號新京驛連結方木下貞男氏が發見危險を冒して馬の鼻をつかみ漸く引止め人畜の被害を未前に防ぎ、その旨驛前派出所へ屆出でた、派出所では馬車の所有者を搜査の結果住吉町二丁目六番地住吉製材所の馬車と判明し、住吉製材所を呼び出し馬及び荷車を引渡した處住吉製材所の方では謝禮として木下氏へ金一圓の贈呈を申出でたが木下君は固く辭退して受取らず、それではその金は同情週間の方へ廻して下さいと木下氏が派出所の係官に申出でたので係官も木下氏の奇特な申出でに感激され同情週間への手續きをとつた

禁酒を誓つて 昨日同情週間へ
新京驛鈴木文一氏の美擧

各方面から贈られた同情週間もいよいよけふで終りを告げるがきのふ午後新京驛助役室勤務鈴木文一氏は本社を訪れけふ限り禁酒斷行を實施することを神かけて誓つたのでその記念にと金二圓を同情週間へと依託した

中央局扱ひ 保險、年金好績

新京中央郵便局では此の程增進の一途を辿つて來た簡易保險並に郵便年金事業の成績を調査したところ躍進新京を如實に反映して、簡易保險の如きは十一月末現在に於て成人三萬餘件保險金額六百三十餘萬圓、小兒五千五百餘件保險金額九十余萬圓に達し今後益々增加の傾向にある

金警察總監 挨拶に本社訪問

新任首都警察總監金榮桂氏は十八日就任挨拶に來社した

郵務司關係者 挨拶に來社

交通部郵務司事務官高岡一夫同司勤務內海二朗、新京郵政管理局業務處長仲西實雄の三氏は十八日挨拶に來社

吉林スキー倶樂部 全滿に會員募集

夏の水鄕吉林は冬はスキーの好適地なることに眼をつけたジャパンツーリストビューロー吉林出張所主任齋藤博氏は吉林鐵路局、吉林觀光協會等と相談の上、同地を滿洲随一のスキー地となすべく、全力をつくしてゐるが本年は時既におそく明年度より大々的設備にとりかゝることゝなり、先づその前提として過般吉林スキー倶樂部を設立し、新京及全滿に呼びかけ普く會員を募集することゝなつた同倶樂部の會員は新京吉林間汽車賃往復二、三等に限り二割引でスキーを無料貸與し、初心者には懇切に指導する筈である希望者は吉林商埠地支部（ジャパンツーリストビューロー吉林案內所內齋藤氏）吉林城內支部、新京では驛前ジャパンツーリストビユロー新京案內所、渡邊運動具店へ申込めばよい、倶樂部の綱領及び特典を示せば左の如くである

（一）名稱　本倶樂部は吉林スキー倶樂部と稱す
（二）組織　本倶樂部は吉林新京及全滿のスキー愛好者を以て組織す
（三）目的　本倶樂部員の親睦を圖り吉林近郊の山岳斜面をスキー適地として開發するを以て目的とす
（四）事業　本倶樂部は其の目的を達する爲めに左の事業を行ふ
一、スキー初心者の指導、二、スキー競技會及親睦會の開催、三、スキー場の施設及管理、四、スキー好適地の紹介宣傳、五、スキー場雪質の速報連絡、六、其他必要と認むる事業
（五）倶樂部員　本倶樂部に入會せんとするものは所定の申込書に署名捺印し會費一シーズン分を添へて本部又は支部に差出すべし
（六）會議　定期總會は毎年一回二月に之を開催す役員會は必要に應じ幹事長之を招集す
（七）倶樂部會費　本倶樂部員費は一シーズン一圓とす
（八）維持　本倶樂部は倶樂部員費及寄附金其他の收入を以て維持す
（九）事務所　本倶樂部事務所は吉林觀光協會吉林市政籌備處內に置き必要に應じ各所に支部を設くることを得

支部所在地（入會申込所）吉林商埠地支部（ジヤパンツーリスト・ビユーロー吉林案內所齋藤氏）電三〇五八番　吉林城內支部（吉林市政籌備處內吉林觀光協會吉田氏）電二四〇七番　新京支部（新京驛前ジヤパン・ツーリスト・ビユーロー新京案內所）電三ノ三三九三、三ノ四七七二番、三ノ六四〇八

△倶樂部員の特典　本倶樂部員には次の特典がある
一、新京、吉林間汽車賃往復二、三等二割引
二、吉林各旅館最低料金の二割引
三、日曜祭日に限り驛よりスキー場迄係員が案內する（但し午前十時半驛前出發とす）
四、本倶樂部主催の各種會合參加と施設利用

來年からなくなる 凍死や行倒れ
いよいよ取締規則を制定

滿洲の冬の名物「行倒れ」の絶滅も取扱ひの完全を期して民政部では康德三年新規要求として行路死亡者取扱ひに關する豫算二萬圓を計上したが十七日の豫算會において四千圓に削減され大體決定をみたので愈々「行路死亡者取締規則」を施行し行路死亡者の取扱ひに萬全を期する事となつた、同規則は目下民政部社會科において成案を急いでゐるが豫算四千圓を新京、吉林、ハルビン、チ、ハル、安東、營口各市公署に國庫補助金として下附し市公署當局をしてこれが取扱ひに當たらしめるもので、これにより人道問題として憂慮されてゐた「行倒れ」取扱問題も解決するものと期待されてゐる尙全國一ヶ年の行路死亡者數は一ヶ年約七千人に達し最近の國都では毎日平均二人半の行倒れを生んでゐる

滿鐵輸送狀況

【大連支社發】滿鐵輸送狀況は漸く本格的となり十四日には一般使用車二、五〇二車、工事用五二車合計二、五五四車に達し使用車の最高記錄を作つた、現在迄の記錄は前年十月の二、五四四車で此に比較して本年は十車を超過してゐる、發送輛數は七二、一二六輛で記錄にはならないが之は輸入貨物が多くて輛數が上らなかつたものである

新京署の中央局窓口警戒

新京郵便局の年賀郵便特別扱はいよいよ二十日から開始されるが郵便局では窓口事務の輻輳による掏摸の被害を防ぐため期間中新京署より特に署員遣の派を乞ひ嚴重警戒することゝなつた

瀧孃後援會 華々しく開催
余興も盛り澤山に

晴れのオリムピックに出場する瀧三七子孃の後援會は二十二日正午および午後六時からの二回に亘つて記念公會堂で開催されることになつたが、當日は定刻小松聯合町內會長の挨拶に始まり、武田新京體育聯盟理事長の激勵の辭について餘興に入るはずで、黎明舞踊會、新京藝術協會始め各方々から多數出演し華々しく開催されるはずである、當日のプログラム左の通り

第一部
一、童謠舞踊　イ、ポンポコ狸　ロ、ハルピンの馬車屋さん　ハ、月夜のアラレ　ニ、金時踊　ホ、ねんねんねむの木　ヘ、奴のお使ひ　ト、土八の獅子狩
二、都山流本曲「春風」
三、寸劇「古いラブレター」
四、童謠舞踊「青い目の人形」
五、寸劇「男は勝手よ」
（休憩）

第二部
一、童謠舞踊　イ、赤ちやん雲雀　ロ、祇園小唄　ハ、サーカスの唄　ニ、繪日傘　ホ、丘を越えて
二、舞踊小品　大原女
三、都山流本曲「紅葉」
四、童謠舞踊　イ、朗かな口笛　ロ、卵と殿樣　ハ、關取人形　ニ、急げ幌馬車　ホ、希望の首途
五、獨唱二曲
六、寸劇「女給」

米岡旅順市長 重態

【大連國通】米岡旅順市長は十六日大連伏見臺の同氏事務所に於て入浴後發熱醫師の診斷の結果尿毒症と判明、專ら加療中であるが十八日肺炎を併發した爲め氣遣はれてゐる

本社取扱 歲末同情週間義金（五）

金一圓永田富太郎、金五十錢日華生保滿洲出張所、金一圓吉永キヨ、金五十圓新京騎手會、小計金五十二圓五十錢
累計金三百九十圓五十錢

宇野ノブヨさん 無料助產

ダイヤ街一丁目四番地產婆宇野ノブヨさんは年末同情週間に出產上往診、宅診、入院を無料で取扱ふ由

山成副總裁 對日放送

山成中銀副總裁は廿一日午前十一時五十分より三十分にわたり「滿洲國の通貨と金銀」と題し對日放送を行ふことゝなつた

大同報田邊氏 退社新事業へ

漢字紙大同報營業部の田邊文生氏は今回同社を辭し新たに創立された滿洲國學用品承辨處副處長に就任した、同處は孫化南氏を處長に滿洲國各學校の教科書を始めすべての用品を供給する事業である

擴がるバス網 二新線郊外へ
新京から小合隆、萬寶山へ
愈よ近日中に開通

新京交通會社では、現在郊外線としての五通、双陽、雙城堡三線のほかに、更に小合隆および萬寶山の兩線の運行を開始すべく、認可あり次第たゞちに開通を見ることになつたが、小合隆線は新京から小合隆を經て小八家子に至る三十二キロ、萬寶山線は新京から萬寶山まで三十キロ、いづれも往路は毎日午前十時發十一時三十分着、復路は正午發午後一時三十分着の豫定で、前者は年內に後者は年內若くは來春早々開通の見込であるなほ伏隆泉、農安、下九臺をめぐる一大郊外線の運行も計畫中で、かくて新京を中心に各方面に向つてバス網が漸次擴大されるであらう

研究に咲いた國際愛
若き言語學徒 タタール娘と結婚

【ハイラル國通】若き言語學者が黙々と自己の研究に親しむ中にそれを蔭日向なく助けて來た下宿のタタール娘とお互に愛し合ふ仲となつたが、一年二ヶ月の研究も終るので愈々近く正式結婚し、兩人手を携へて一月中旬歸朝する事となつた、若き言語學者服部四郎氏は東京帝大文科卒業の秀才でタタール語研究の爲め昭和九年十一月來滿したものであるが英、佛、獨、ラテン露、タタール、蒙古語を良くし最近は又滿洲語を研究してゐるが、實に少壯有爲の好青年で本年二十八歲である、相手のマギーラ・アゲーヴ（二十四歲）はハルビン高師卒業のインテリであるが、最近は未來の夫君の教育で自由に日本語を操つてゐるタタール人は東洋人であると言ふ事が服部氏の研究によつて明かにされると同時に益々強く兩人は結びつけられたものであるがタタール語の研究を一生の仕事として守らんとする氏にはこの國際結婚は祝福すべきである

岩越本部隊
白雪の曠野に滲む 鮮血・討匪美談（上）
諸勇士の偉勳を追想

盟邦滿洲國の急速にして而も堅實なる發達は世界の驚異である、由來建國の歷史は壯烈であつて、一面は國民志氣の沸騰であり、一面は鮮血の凝固である、滿洲國は王道立國の國民的自憤によりて蹶起し、皇道宣布を理想とする我大和民族が盟邦の支掌となり一路其理想に向ひ日滿打つて一丸となりつゝ驀進又驀進の狀景は正に世界の壯觀である創業は一朝にして成らない、皇國は滿洲國發祥の契機たる滿洲事變以來幾多高潔なる鮮血を流してゐる、滿洲國は我大和民族の鮮血によりて凝固しつゝある、この凝固によりてこそ皇道が五族の精髓にまで浸透するであらう

今次肅淸工作は異常なる決意を以て全滿各地に於て實施せられ、又現に實行しつゝある所で、各地着々成果をあげつゝあるが、我岩越本部隊防衞地區內に於ても日滿軍警及省縣當局者の一致協力に依り本年八月頃約一萬に垂んとした匪賊が十一月下旬に於ては約四千內外に激減した事は正に劃期的成果と言ふべきである乍然此成果は一面血の凝固である事實を決して看過してはならない、本期肅淸工作の爲二十七名の戰死と戰傷五十六名計八十三名の犧牲を出して居る、以下美譚の若干を紹介し建國途上血涙の跡を辿ることにする

◇……◇

八月二十日湖南營派遣隊たる田村部隊の池田小隊に屬する松井上等兵は小醬局附近の戰鬪に於て敵は森林を巧に利用し至近距離より猛射する間を常に陣頭にあつて奮戰しつゝあつたが分隊長の突擊號令と共に敵陣に突入した刹那飛來せる一彈上等兵の右胸部を貫通し鮮血淋漓、松井上等兵は此の致命的重傷を意とせず死力を奮つて更に一敵を刺殺し銃を堅持したまゝ敵匪と共に斃れた此の有樣を目擊した小隊長は「松井、松井」と連呼したが答へることが出來ない暫くして眼を閉き微かに「天皇陛下萬歲」と唱へ莞爾として瞑目した此時分隊長安藤軍曹は上等兵を射殺せし敵匪を求めて疾風の如く迫り見事其胸部を刺し貫き即座に部下の仇を酬ひたのであつた松井上等兵の鮮血に染りつゝ銃を堅持し敵匪と刺しちがへて斃れた模樣、分隊長の復讐狀景全く壯烈鬼神も哭くと言ふべきである

◇……◇

十月五日島本部隊に屬する久米川〇隊は十月五日夜暗泥濘なる惡路險峻なる山地を跋涉し飛雪粉々たる中に賓縣三道河子東方山中にありし合流匪約百を奇襲した、小隊は巧に敵を包圍し至近の距離より攻擊を開始した、敵は當時屋內にて寒を凌ぎつゝあつたが俄然一齊に我に向つて猛射を開始し負傷續出する有樣であつた此の時林上等兵は單身猛火を浴びつゝ匪團に突入し忽ち數名を殪しその怯むに乘じ更に屋內に突入し匪首以下數名を刺殺した

此際上等兵は既に屋上天井よりの敵の猛射の爲身に十數彈を受け其彈藥盒の如きは形なきまでに敵彈命中し悲壯なる狀態であつたが毫も屈せず縱橫に突きまくり小隊突擊の端緒を作つた、折しも數彈頭部に命中しさしも勇敢なる林上等兵も再び起つ能はず只一言の「萬歲」と共に壯烈なる戰死を遂げた

◇……◇

嗚呼、其の旺盛なる攻擊精神崇高なる犧牲的行動、誰か感奮興起しないものがあらうか

十月十三日吉本部隊の赤羽部隊は夜半（午前一時）匪情を得るや急遽出動準備を整へ午前一時半出發翌午前十一時迄困難なる地形を冒し匪影を求めて急追し大唐道溝附近に於て遂に之を捕捉し巧に之を急襲して全滅的打擊を與へた又安藤部隊の如きは十月十四日夕匪情を得るや夜半出發之を急襲し大打擊を與へ逃ぐるを追つて包圍攻擊し殆んど之を全滅更に捕虜の自白により引續き匪首の根據地を急襲し已に其の退却中なるを知るや一意之を急追、遂に之を捕捉徹底的大打擊を與へた

其迅速なること實に風の如くであり潰さずんば止まざるの攻擊精神に致つては眞に皇軍平生の訓練の精華を十分に發露したものと言ふべきである

愛よ戰ひとれ

（百八）

福田正夫　泉式久畫

出帆（一）

十日ばかり前のことである。横濱港の岸壁に、北平丸が横づけられて、歐洲へ向つて出發しようとしてゐた。一つの船室の中に、向き合つてゐる五人の男女がある。

「では、これを……」

老人が一つの紙包みと、帛紗につゝんだものを卓に置いた。

「あゝ！」

受けたのは渡邊である。

「なんです？」

春世夫人と勝美の代理に、渡邊の見送りに來た書生の太田が、珍らしさうにたづねて、俊一にたしなめられた。

「なにを失禮なことをいふんだ」

「はあ！」

太田は首をすくめた。

渡邊が受けたのは、この餞のための費用で、——老人はその家に仕へてゐる忠實な家扶であつた。

「ふ！」

俊一はしかたなく苦笑した。

「信用がないでしてね」

「はい、おいひつけで、どうも！」

老人は丁寧にわびた。

「子供あつかひだよ」

渡邊はそれを無造作にポケットに入れたが、この時出帆の合圖の銅鑼が鳴りはじめた。片隅につゝましく立つてゐた珠江は、やつと渡邊に別れを告げて、みんなの後を出て行からとしたのである。彼女は涙ぐんでゐた。

「渡邊さんが……こんな淋しい出發！」

特殊の人が、こつそりと日本を逃げて行くのだ。——彼女でなくても、この人の瞳にきざまれてゐる苦しみを見たら、同情しないではゐられなかつたであらう。

渡邊は物蔭で俊一と珠江をひきとめた。

「俊一さん、……僕は珠江君に受けとつて貰ひたいものがあるんです」

「なんだね」

渡邊は二人の前で紙包みをひらくと百圓札を五枚數へた。

「珠江さん！」

「は！」

「これを、大瀬君に返して下さい」

「まあ！」

彼女はおびえたが、渡邊は重ねていつた。

「遠慮しなくていゝんです。……あなたは未來がある、そしてそのためには金がなくてはならない。とにかく大瀬君にだけは返して下さい」

「でも……」

「これが、あなたへの最後の贈物です」

彼は俊一を見た。

「ねえ、あなたからもすゝめて下さい。大瀬君が、悲壯な戰ひをして、賠償金をとつたのも、僕がのんだためです」

「さあ！」

俊一がいつた。

「大瀬君は受取らないだらうと思ふが、どうだらう」

「受け取らして下さい」

「でも、君はこれから旅をするんで、いくらあつてもいゝじゃあないか」

「無くつてもいゝんです」

「でもねえ」

「どうぞ、どうぞ、珠江さん！」

「いや、渡邊君！」

俊一がいつたのである。

「その金は返さなくていゝわけがあるんだ」

「えッ」

渡邊は意味ありげな言葉に、俊一をみつめてゐた。